

西九州させぼ広域都市圏ビジョン
(案)

平成31年〇月

佐世保市

目次

I	都市圏ビジョンの概要	
1	策定の趣旨	1
2	連携中枢都市圏の名称・構成自治体	2
3	計画期間	2
II	圏域の現状	
1	西九州させぼ広域都市圏と構成自治体の概要	3
2	圏域の人口動態	15
3	圏域の産業の状況	19
4	圏域の都市機能の集積状況	33
III	西九州させぼ広域都市圏の将来像	
1	目指すべき将来の姿	40
2	将来の圏域人口の目標	40
IV	将来像の実現に向けた具体的取組	
1	施策体系	41
2	管理指標・成果指標（K P I）	42
3	推進する具体的取組	44
	(1) 圏域全体の経済成長のけん引	44
	(2) 高次都市機能の集積・強化	48
	(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	52

I 都市圏ビジョンの概要

1. 策定の趣旨

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、我が国の総人口は、平成 27 年（2015 年）国勢調査時点の、約 1 億 2,700 万人が長期の人口減少過程の中で、平成 52 年(2040)年には約 1 億 1,100 万人、12.6%の減少となり、65 歳以上の老年人口の割合は 35.34%となり、人口減少、少子高齢の急速な進展が見込まれています。

本圏域でもこの傾向は顕著で、平成 27 年（2015 年）国勢調査における圏域 12 市町の人口約 48 万 8,000 人が、平成 52 年(2040 年)には約 37 万人、24.2%の減少となり、老年人口の割合も平成 27 年（2015 年）国勢調査時点で 30.7%だったものが、平成 52 年（2040 年）には 37.7%になると見込まれています。

このような人口減少、少子高齢化の進行は、我が国全体の活力の低下や、経済規模の縮小を招き、地方においては地域経済の急激な活力低下、地域社会の衰退が懸念される一方、社会保障費などの増大によって、行政サービスを持続的、安定的に提供できなくなるという現実的かつ具体的な課題に直面することになります。

このようなリスクに対しては、行政区域の枠を超え、社会的、経済的に関係性のある自治体と横の繋がりを築き、医療や交通、産業といった分野において、行政サービスや都市機能を効率良く活用しながら、地域の社会・経済を支えていくことが重要となります。

そして、このような社会の構造的転換には相当の時間が必要となることから、これらに係る取組みは出来るだけ早くスタートさせることが肝要であり、この取組みを着実に進めることによって、厳しい財政状況を支える地域経済の活性化や、東京への人口一極集中といった都市部への人口流出に歯止めをかけ、地域に人を滞留させていくことが可能になると考えられます。

一方、国においても、地域で相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する「連携中枢都市圏構想」が進められており、国の諮問機関である第 31 次地方制度調査会の中でも、自治法改正により新たに設けられた連携協約をはじめ、事務の共同処理の仕組みを活用して地方公共団体間の広域連携を推進していくべきとの答申がなされています。

今般、長崎県佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町、佐賀県伊万里市及び有田町の 12 市町は、国が提唱する「連携中枢都市圏構想」の趣旨や、今後訪れる課題への危機感を共有した中で、将来に向けた地域経済・社会の一体的かつ持続的発展を図るため、佐世保市を中心市とする「西九州させば広域都市圏」の形成に取り組むこととしました。

この「西九州させば広域都市圏ビジョン」は、西九州北部地域等の各自治体が行政区域の枠を超え、様々な分野で相互に強みを伸ばし、弱みを補完しながら圏域全体を活性化していくための方向性を示し、今後の具体的な取組みを推進していくための中長期的な広域計画として策定するものです。

2. 連携中枢都市圏の名称・構成自治体

(1) 連携中枢都市圏の名称

「西九州させぼ広域都市圏」

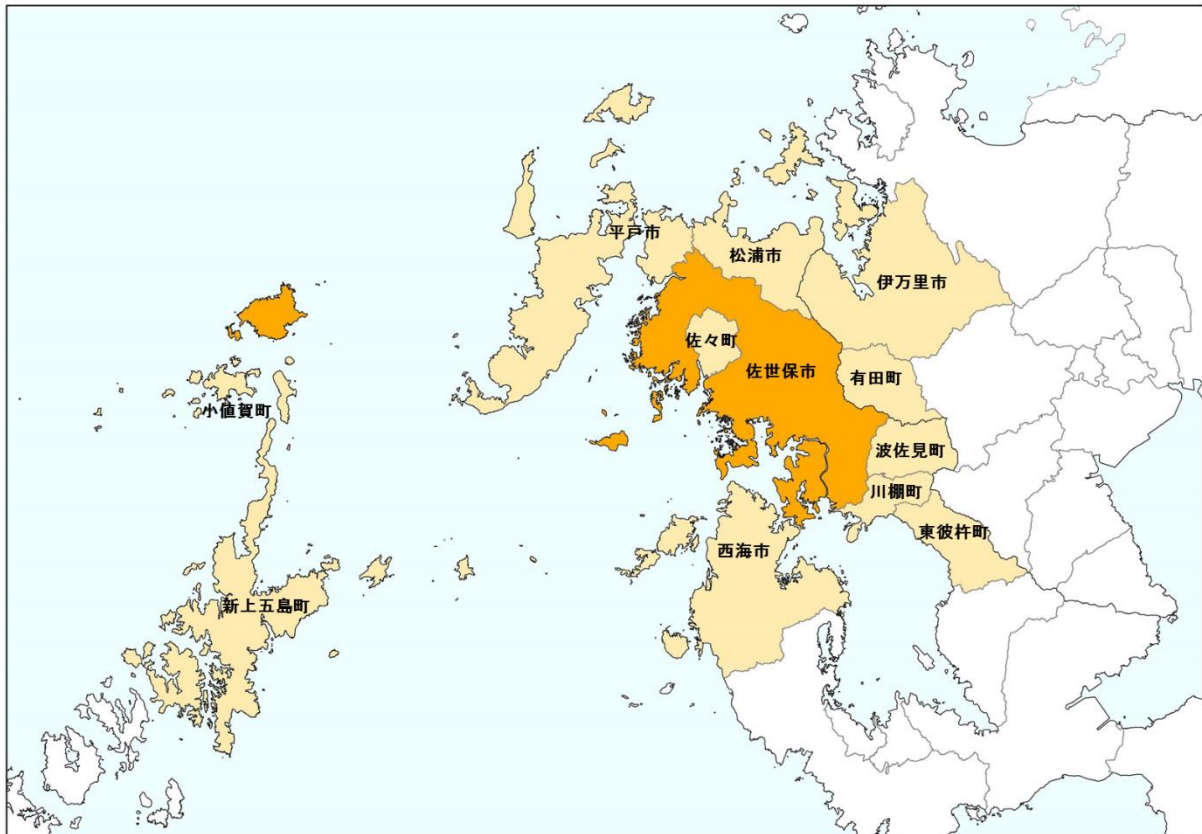
※以下本ビジョンでは西九州させぼ広域都市圏を「圏域」という。

(2) 連携中枢都市圏の構成自治体

長崎県：佐世保市（連携中枢都市）、平戸市、松浦市、西海市、佐々町、川棚町、
波佐見町、東彼杵町、小値賀町、新上五島町

佐賀県：伊万里市、有田町

【合計 5 市 7 町】



(3) 構成自治体面積・人口密度

(k㎡)

	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
面積 (2017年)	426.06	235.09	130.55	241.59	74.28	37.25	56.00	25.52	32.27	213.99	255.25	65.85	1,793.70
構成比	23.8%	13.1%	7.3%	13.5%	4.1%	2.1%	3.1%	1.4%	1.8%	11.9%	14.2%	3.7%	100.0%
人口 (H27国調)	255,439	31,920	23,309	28,691	8,298	14,067	14,891	2,560	13,626	19,718	55,238	20,148	487,905
人口密度	600	136	179	119	112	378	266	100	422	92	216	306	272

(出典) 2017年全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)

3. 計画期間

計画期間は、2019年度から2024年度までの5年間とします。(※毎年度所要の変更有り)

II 圏域の現状

1. 西九州させぼ広域都市圏と構成自治体の概要

(1)西九州させぼ広域都市圏の概要

本圏域は九州北西部に位置し、古くから連綿と人が住み続けてきた地域です。

洞穴遺跡の数は日本一であり、世界最古級の豆粒文土器が出土しています。また、大陸との交流も盛んで、数多くの大陸文化との融合の形跡が確認されている地域です。

戦国から江戸時代においては、本地域に海を舞台として活躍した松浦党が出現し、その流れを汲む平戸松浦氏による平戸藩 6 万 3 千石の領地として存続してきました。

五島地域においては、平家に連なる平家盛を始祖にもつとの伝説を有する五島家による統治が行われ、捕鯨などにより栄える一方、潜伏キリシタンによる開拓などが有名です。

また、近年では、世界遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」や、長崎・佐賀両県に跨る日本遺産である「肥前窯業圏」、そして、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定された九十九島等、数多くの魅力ある地域資源を有し、また、産業面でも国内有数の漁獲量を誇る水産業や歴史のある造船業等、工業・商業分野でも多様な産業が集積しています。

そして、これらを育んできた豊かな大地は地震が少なく、自然災害に強い土壌と気候に恵まれており、私たちの安全な暮らしを支えています。

(2)構成自治体の概要

①佐世保市（連携中枢都市）

佐世保市は、九州の西北部、長崎県の北部に位置し、面積約 427 k m²、人口約 25 万人を有する都市です。

明治 22 年に海軍佐世保鎮守府が設置されて以降、戦前は海軍とともに発展し、戦後は平和産業港湾都市として、造船や炭鉱を柱とした産業の発展を経て、現在は、長崎県県北地域、佐賀県西部地域の中心的都市となっており、平成 28 年 4 月に中核市へ移行しました。

また、大小 208 の島々が織りなす美しい景観を誇る多島海「西海国立公園九十九島」、「世界遺産」、日本最大級のテーマパーク「ハウステンボス」、日本遺産に認定された「佐世保鎮守府」や「三川内焼」を有する観光都市であると同時に、みかんや牡蠣等の農水産物にも恵まれ、また、造船をはじめとした製造業、日本一長いアーケードを有する産業都市でもあります。

市内には米軍基地があり、また、広範囲な地域から人が流入して大きくなった都市であることから市民は多様性に富んでいます。

今後も都市機能の一層の高度化による多種多様な産業の展開が見込まれ、地域発展をけん引する力が蓄積されています。



西海国立公園九十九島



ハウステンボス

②平戸市

平戸市は、長崎県本土の北部に位置し、面積約 235 k m²、人口約 3 万 1 千人を有する都市です。古くから大陸交流の玄関口として栄え、平安時代から中国や朝鮮との交易の中継地となり遣唐・遣隋使の寄港地として空海や栄西なども立ち寄っています。

16 世紀には、日本に初めて来航したポルトガル船が平戸に入港し、南蛮貿易が行われました。17 世紀前半には、オランダやイギリスの商館が設置されるなど海外文化やキリスト教伝来の窓口となり、市内には田平天主堂、宝亀教会など 14 の教会が存在します。

生月地区や大島地区には捕鯨で栄えた歴史があり、江戸時代後期には益富組、井元氏鯨組など西海捕鯨の中心地として名を馳せ、特に生月地区の益富組は日本最大の規模に達しました。

長崎県内でも有数の観光地として知られ、年間約 175 万人の観光客が訪れています。また、平成 30 年 7 月に世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のうち、構成資産である「平戸の聖地と集落（春日集落と安満岳、中江ノ島）」を有しており、国内外からの観光客の増加が見込まれます。

産業においては、本市の主要産業である農業、漁業、サービス業のうち、特に農業、漁業などの第 1 次産業の比率は、平成 27 年で約 20%（県内平均の約 2.5 倍）と高い割合になっています。



寺院と教会の見える風景



平戸大橋

③松浦市

松浦市は、長崎県本土の北部に位置し、面積約 131 km²、人口約 2 万 3,000 人を有する都市です。

水軍・松浦党発祥の地であり、鎌倉時代に起きた元寇（文永の役・弘安の役）においては、元軍の船団が松浦市鷹島沖に集結した際、暴風雨により沈没・退却したことで知られています。

明治から昭和にかけては石炭産業が主力でしたが、現在は、日本有数の水揚げ量を誇る松浦魚市場、海外炭を燃料とする 370 万キロワットの火力発電所を擁する水産物とエネルギーの一大供給基地として栄えています。

現在、市内で整備が進む高規格道路「西九州自動車道」が開通すると、福岡市中心部と約 70 分で行きわたることになります。この強みを活かし、福岡都市圏をメインターゲットとして、市場で高い評価を受けている農水産物、海底遺跡として日本初の国指定史跡となった「鷹島神崎遺跡」や日本の棚田百選に選ばれた「土谷棚田」をはじめとする観光資源、年間約 3 万人の受け入れを行っている体験型観光等を活かしたプロモーション事業を展開し、交流人口の拡大に取り組んでいます。



松浦火力発電所



松浦魚市場・松浦市水産加工団地

④西海市

西海市は、西彼杵半島の北部、県内の2大都市である長崎市と佐世保市の間に位置し、面積約242km²、人口約2万9,000人を有する都市です。

東岸は大村湾に、西岸は外海の五島灘、角力灘、北岸は佐世保湾に面し、複雑な地形を持った海岸線や、点在する大きささまざまな島等、美しく優れた自然景観を有しています。

1562年に日本最初のキリシタン大名である大村純忠が横瀬浦にポルトガルとの貿易港を開口したことから、西海市は南蛮貿易やキリスト教と縁の深い歴史を持っています。江戸時代には大村藩に属しており、大村藩の捕鯨基地としても栄えました。

町村制が施行された明治22年4月時点では、13村で構成されていました。その後の合併、編入、町名変更を経て昭和44年1月に西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の5町構成となり、平成17年4月1日に5町が対等合併し西海市となりました。

西海市には、全国と比べても高い造船技術を持つ大島造船所を始めとして、松島火力発電所、ダイヤソルトといった優良企業があります。そういった民間と協力し、人材の確保及び育成について、トップランナーを目指します。また、土壌と漁場に恵まれた西海市の山海の幸は、全国各地でも評価の高い「メイドイン西海」の特産品であり、求められる需要に対し安定した供給をできるように努めております。また、恵まれた自然を守り、環境に優しい取組みを推進する中で、特に再生可能エネルギーの利用促進を行い、次世代に向けた自然環境の保全・活用を図ります。



大島大橋



国指定天然記念物七ツ釜鍾乳洞

⑤東彼杵町

東彼杵町は、長崎県のほぼ中央に位置し、面積約 74 km²、人口約 8,000 人を有する町です。

古くは長崎街道の宿場町として、また、平戸街道の起点として栄えた町です。江戸初期から 明治にかけては、五島近海で獲れた鯨の集積基地として栄え、現在も町内にはこうした街道や鯨にまつわる歴史の面影が各所に残されています。

東彼杵町は、2 つの国道のほか、長崎自動車道が町を縦断、南西に臨む波静かな大村湾の海岸線には、長崎・佐世保を繋ぐ JR 大村線が走り、隣接する大村市にある長崎空港にも車で 30 分と、陸海空の交通アクセスに恵まれた町です。

基幹産業である農業は、お茶、いちご、アスパラガスなどの生産が盛んで、特にお茶に関しては、長崎玉緑茶の生産量の大半を占め、「そのぎ茶」ブランドで親しまれています。平成 29 年度は蒸し製玉緑茶の部で農林水産大臣賞を受賞、さらには消費者が選ぶ日本一おいしいお茶「日本茶アワード 2017」でも「日本茶大賞」に選ばれています。

県、町の工業団地による商工業振興のほか、お茶と景観を活かしたグリーンティリズムによる観光振興にも取り組み、「一流の田舎」づくりを目指しています。



そのぎ茶



千綿駅 (井口勝也氏撮影)

⑥川棚町

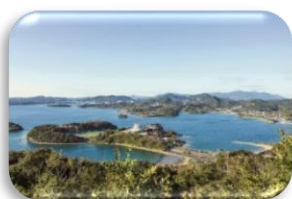
川棚町は、長崎県のほぼ中央に位置し、面積約 37 km²、人口約 1 万 4,000 人を有する都市です。

佐世保市に隣接し、南は波静かな大村湾に面し、東には九州のmatterホルンと呼ばれる虚空蔵山がそびえ、西の大崎半島一帯は県立自然公園に指定され、町の中心を川棚川が貫流している豊かな自然環境が調和した風光明媚な町です。

肥前風土記のなかで、はるか昔「川岸之村」と呼ばれていたと記されている本町は、昭和 9 年に町制を施行し、川棚町としての歩みを始めました。第二次世界大戦中であった昭和 17 年に海軍工廠ができたのをはじめ、軍関係の施設が町内のいたるところにでき、町制施行時に 7 千 6 百人程度であった人口は当時 3 万人にまでふくれあがりました。

また、行政区域については、昭和 18 年に東彼杵町小音琴郷の一部を編入、昭和 35 年及び昭和 37 年に波佐見町中山郷の一部を編入し、現在に至っています。

川棚町はこれまで快適な住環境の創出に向けて上下水道や住宅環境、公園・緑地などの整備を積極的に取り組んできました。これからは川棚町の持つ自然や文化などの魅力を活かしつつ、地域における支え合いや保健・福祉の充実などに取り組み、「自然を愛し、くらし輝くまち」を目指していきます。



川棚大崎自然公園



川棚大崎自然公園

⑦波佐見町

波佐見町は、長崎県のほぼ中央に位置し、面積約 56 km²、人口約 1 万 5,000 人を有する都市です。

江戸時代は「波佐見村」として大村藩に属し、明治期に「上波佐見村」と「下波佐見村」に分かれた後、昭和 31 年（1956）に合併し「波佐見町」となり、現在、町政施行後 60 年を数えます。

波佐見町は、400 年の歴史を誇る窯業と農業の町でもあり、波佐見焼は全国の日用食器の約 12% のシェアを持ち、普段使いの器として、その時代のニーズに合わせてデザインした手の届きやすい焼き物をつくっています。また、日本の棚田百選に選ばれた「鬼木棚田」をはじめ、田園風景の広がる緑豊かな街並みを形成しています。

さらに、今の波佐見町は“観光が楽しい町”でもあります。「桜陶祭」、「波佐見陶器まつり」、「皿山器替えまつり」など、作り手とふれあいながら波佐見焼を購入できるイベントのほか、「鬼木棚田まつり」をはじめとした豊かな自然や清流を楽しむイベントを、年間を通して楽しむことができます。

近年では、波佐見焼と農業を組み合わせた体験型観光「とうのう」や、古い製陶所をリノベーションしたカフェや雑貨屋が並ぶ「西ノ原」など、地域資源を生かした新たなスポットも生まれ、さらなる魅力あるまちづくりに取り組んでいます。



波佐見陶器まつり



鬼木棚田

⑧小値賀町

小値賀町は、五島列島北部に位置し、面積約 26 km²、人口約 2,500 人を有する都市です。

長崎県で最も小さな自治体でもあり、小値賀本島を中心に大小 17 の島々で構成される火山活動によって生じた珍しい群島で、島嶼部でありながら地形は平坦であり、複雑な海岸線が織りなす美しい自然環境に恵まれ、島のほとんどが西海国立公園に指定されています。

小値賀町には、旧石器時代から人々が連綿と営み続けた歴史・文化があり、肥前風土記にもその名が記され、往古は遣唐使の寄港地でもありました。藩政時代は、平戸藩松浦家の所領であり、廃藩置県後、笛吹・前方・柳の 3 村に分かれ自治制が敷かれていましたが、大正 15 年に 3 村が合併して小値賀村となり、昭和 15 年に町制を施行し、平成 31 年に町制施行 80 周年を迎えます。

2018 年 7 月には「野崎島の集落跡」を構成資産に含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されたほか、「日本で最も美しい村」連合に長崎県で唯一加盟していることを強みに、今後は情報発信にさらに力を入れ、小値賀町の第四次総合計画の目標である「美しい海のまち 生き生きとした産業のまち ふれあいとやすらぎのまち」を将来像に掲げ、各種の政策を推進しています。



旧野首教会



姫の松原

⑨佐々町

佐々町は、圏域の中央部に位置し、面積約 32 km²、人口約 1 万 4,000 人を有する都市です。

佐世保市に隣接し、古くは佐々村、市瀬村が明治 22 年に合併して佐々村となり、大正から昭和にかけての炭鉱全盛期には、人口が 2 倍に膨れ上がるほどの勢いで急速に発展し、昭和 16 年に町政を施行しました。

近年は、佐世保市のベッドタウンとして発展してきましたが、平成 23 年 9 月に西九州自動車道佐々インターチェンジの供用が開始されたことにより、佐世保市などへのアクセスが格段に向上したことで、今後更なる発展が期待されます。

また、町の中央を北東から南へかけ、国見山（佐世保市世知原町）に源流を発する延長 21.9 km におよぶ佐々川が貫流し、川に沿って平野が開け、町が展開しています。

まちのシンボルである佐々川は、生物多様性に富んでおり、春の風物詩であるシロウオのほか、カブトガニやハクセンシオマネキなどの絶滅危惧種も多数生息しています。

今後は、こういった町の魅力ともいえる自然環境を守り続け、圏域の中央部という地理的好条件を活かしながら、“住んでよかった” “これからも住み続けたい” と思えるようなまちづくりを進めてまいります。



佐々川のシロウオ漁・河津桜



皿山菖蒲園

⑩新上五島町

新上五島町は、圏域の南西部で、五島列島の北部に位置し、面積約 214 km²、人口約 1 万 9,000 人を有する都市です。

中通島と若松島を中心とする 7 つの有人島と 60 の無人島から構成され、全般に細長く、急峻な山々が連なり、東は五島灘、西は東シナ海に面しており、海岸延長は約 429 k m におよび、遠浅で砂浜が美しい蛤浜海水浴場やリアス式海岸の入江が織りなす美しい景観の若松瀬戸など海と山の豊かな自然を擁し、その大部分が西海国立公園に指定されています。

世界文化遺産に認定された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である頭ヶ島の集落には、キリシタンの歴史を物語る教会や遺産があり、町内では異なる宗教が地元の方々の生活に受け込み、共存してきた「祈りの島」としての歴史があります。

新上五島町は、日本有数の好漁場として水産資源に非常に恵まれており、漁船漁業と養殖業が営まれ、多種多様な水産物が水揚げされています。

また、遣唐使が伝えたとも言われる五島うどんの産地であり、日本三大うどんの一つにも挙げられており、椿油が表面に塗られ、コシの強さ、のどごしの良さが特徴です。

新上五島町では、これらの豊かな自然と歴史文化を活かした観光振興による交流人口の拡大と特産品の販路拡大を目指しています。



頭ヶ島天主堂



若松瀬戸

⑪伊万里市

伊万里市は、佐賀県の西北部、圏域の北東部に位置し、面積約 255 km²、人口約 5 万 6,000 人を有する都市です。

中心市街地は江戸時代に当時は「伊万里」と称される肥前磁器の積み出し港として栄え、また、大川内山では陶磁美の粋を結晶させた「鍋島」を生み出すなど、文化的な都市として繁栄してきました。「伊万里焼」の名称は国内のみならず世界的にも著名であり、平成 28 年には「日本磁器のふるさと 肥前」として近隣市町とともに日本遺産に認定されました。

伊万里ブランドとして名高い伊万里牛や伊万里梨に代表される農業が市内各地で営まれています。

今日では、臨海部を中心に製造業が集積し、伊万里港においては、国の重点港湾および日本海側拠点港に選定されるとともに、韓国・釜山、中国・大連、上海などとの国際コンテナ定期航路が開設され、九州でも有数のコンテナ取扱港となっています。

さらに、西九州自動車道伊万里東府招インターチェンジが平成 29 年度に開通したことで、福岡都市圏まで約 1 時間での移動が可能となり、伊万里市の産業経済、観光文化の振興・活性化に大きな効果が期待されています。



伊万里焼・鍋島焼



カブトガニ・カブトガニ繁殖地

⑫有田町

有田町は、本圏域の西部に位置し、面積約 66 km²、人口約 2 万 1,000 人を有する都市です。

2006 年 3 月 1 日に、旧有田町と旧西有田町が合併し新しい「有田町」が誕生しました。美しい景観を誇る田園地帯や、黒髪連山など豊かな自然に恵まれた町です。

古くからやきものの町として有名な有田町は、1616 年に朝鮮人陶工李参平らによって泉山に陶石が発見され、日本で初めて磁器が焼かれました。以来、佐賀藩のもとで、磁器生産が本格化し、谷あいには「有田千軒」と呼ばれる町並みが形成され、繁栄を極めました。

この町並みは、現在も歴史的価値の高い建物が数多く残っており、1991 年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に、2017 年には国際記念物遺跡会議（イコモス）の国内委員会の後世に残したい「日本の 20 世紀遺産 20 選」に選定されています。

このような地域資源やものづくりの伝統、棚田に代表される農村景観などを最大限に活かし、若い人の思いが実現できるまちとして地方創生に取り組み、「ひとつつながり ひとつどう 世界に誇れるまち 有田」を目指していきます。



内山地区のまちなみ



岳の棚田
(Tシャツアート)

2. 圏域の人口動態

(1) 圏域の総人口の推移及び将来推計人口の推移

本圏域の総人口は、現在に至るまで減少傾向が続いており、将来推計においても減少し続け、平成52年（2040年）には、37万人程度になると予測されています。

構成市町の中では、佐々町、川棚町が増加傾向にあったものの、平成22年（2010年）以降は、全ての構成市町が減少に転じています。

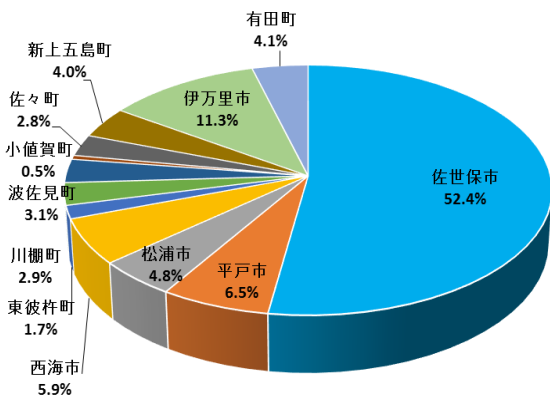
〔図表 1-1 圏域構成市町の総人口推移・将来推計人口推移〕

	昭和55年 (1980年)	平成2年 (1990年)	平成12年 (2000年)	平成22年 (2010年)	平成32年 (2020年)	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)
佐世保市	288,231	280,261	274,399	261,101	248,176	230,906	211,781	202,094
平戸市	50,849	46,572	41,586	34,905	28,890	23,132	17,875	15,440
松浦市	32,478	31,254	28,370	25,145	21,403	17,767	14,358	12,741
西海市	41,064	37,610	35,288	31,176	26,369	21,888	17,766	15,801
東彼杵町	10,353	10,188	10,026	8,903	7,727	6,583	5,432	4,829
川棚町	14,479	14,599	15,325	14,651	13,414	11,896	10,164	9,293
波佐見町	15,498	15,728	15,462	15,227	14,441	13,302	12,020	11,360
小値賀町	5,684	4,651	3,765	2,849	2,234	1,632	1,156	942
佐々町	11,812	12,068	13,335	13,599	13,485	12,880	11,948	11,473
新上五島町	38,140	32,123	27,559	22,074	17,278	12,965	9,323	7,685
伊万里市	61,243	60,882	59,143	57,161	53,008	48,109	42,938	40,270
有田町	23,495	23,413	22,314	20,929	19,227	17,207	15,046	13,936
圏域 計	593,326	569,349	546,572	507,720	465,652	418,267	369,807	345,864

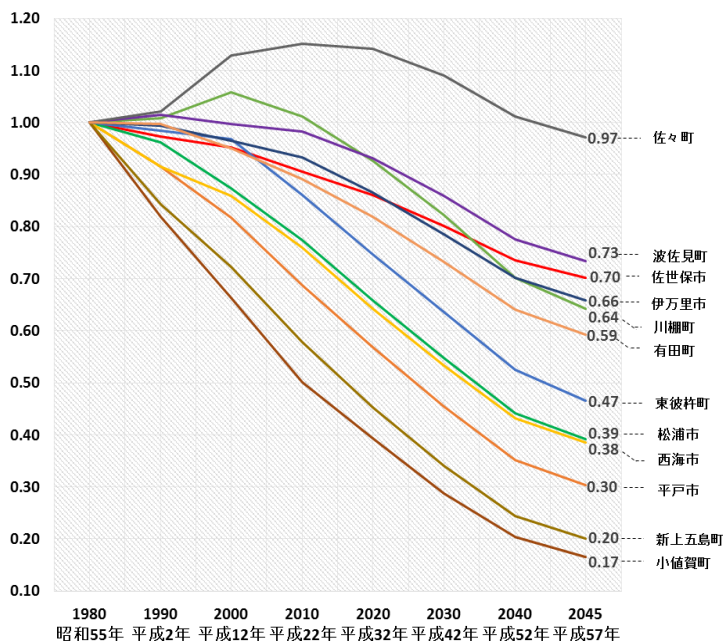
(出典) 「平成 27 年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成 30 年 3 月)

〔図表 1-2 圏域の人口構成及び総人口・将来推計人口推移グラフ〕

【人口構成比:平成27年国勢調査】



【人口推移:1980を1.0とした場合】



(出典) 「平成 27 年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成 30 年 3 月)

(2) 圏域の年齢別人口長期推移

圏域の年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15歳～64歳）は減少傾向が続くと予測されており、老年人口（65歳以上）は平成32年（2020年）までは増加傾向にあるものの、以降、減少に転じる予測となっています。

また、本圏域の年齢別人口構成比率の推移については、生産年齢人口（15歳～64歳）の比率の減少傾向が顕著となっている一方、年少人口（0歳～14歳）の比率は約12%台を維持する傾向が予測されています。

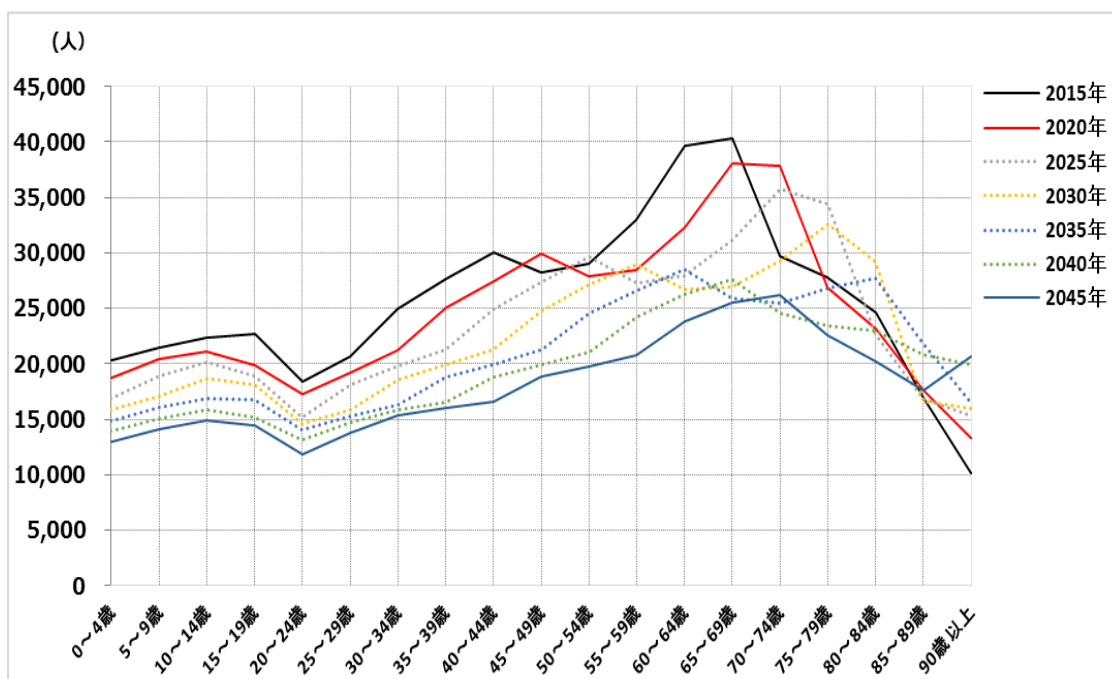
[図表 2-1 圏域の年齢別人口長期推移]

男女計	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総数	487,905	465,652	442,163	418,267	394,093	369,807	345,864
0～4歳	20,294	18,704	16,884	15,889	14,876	13,889	12,918
5～9歳	21,440	20,419	18,872	17,052	16,067	15,055	14,061
10～14歳	22,323	21,131	20,160	18,647	16,857	15,889	14,897
15～19歳	22,649	19,820	18,903	18,078	16,797	15,226	14,386
20～24歳	18,381	17,317	15,193	14,612	14,044	13,100	11,890
25～29歳	20,662	19,182	18,060	15,887	15,297	14,770	13,779
30～34歳	25,004	21,248	19,797	18,614	16,347	15,830	15,357
35～39歳	27,647	25,021	21,336	19,924	18,778	16,536	16,058
40～44歳	30,037	27,450	24,853	21,260	19,874	18,790	16,615
45～49歳	28,224	29,968	27,404	24,804	21,255	19,890	18,844
50～54歳	29,078	27,852	29,622	27,144	24,584	21,087	19,751
55～59歳	32,924	28,432	27,242	29,006	26,633	24,173	20,751
60～64歳	39,609	32,270	27,895	26,763	28,510	26,240	23,869
65～69歳	40,320	38,073	31,124	26,975	25,913	27,622	25,470
70～74歳	29,745	37,809	35,744	29,319	25,487	24,542	26,171
75～79歳	27,800	26,891	34,359	32,548	26,825	23,402	22,610
80～84歳	24,662	23,130	22,588	29,138	27,689	23,016	20,209
85～89歳	16,929	17,641	16,822	16,669	21,847	20,880	17,605
90歳以上	10,177	13,294	15,305	15,938	16,413	19,870	20,623
0～14歳	64,057	60,254	55,916	51,588	47,800	44,833	41,876
15～64歳	274,215	248,560	230,305	216,092	202,119	185,642	171,300
65歳以上※	149,633	156,838	155,942	150,587	144,174	139,332	132,688
75歳以上	79,568	80,956	89,074	94,293	92,774	87,168	81,047

※65歳以上は75歳以上人口含む

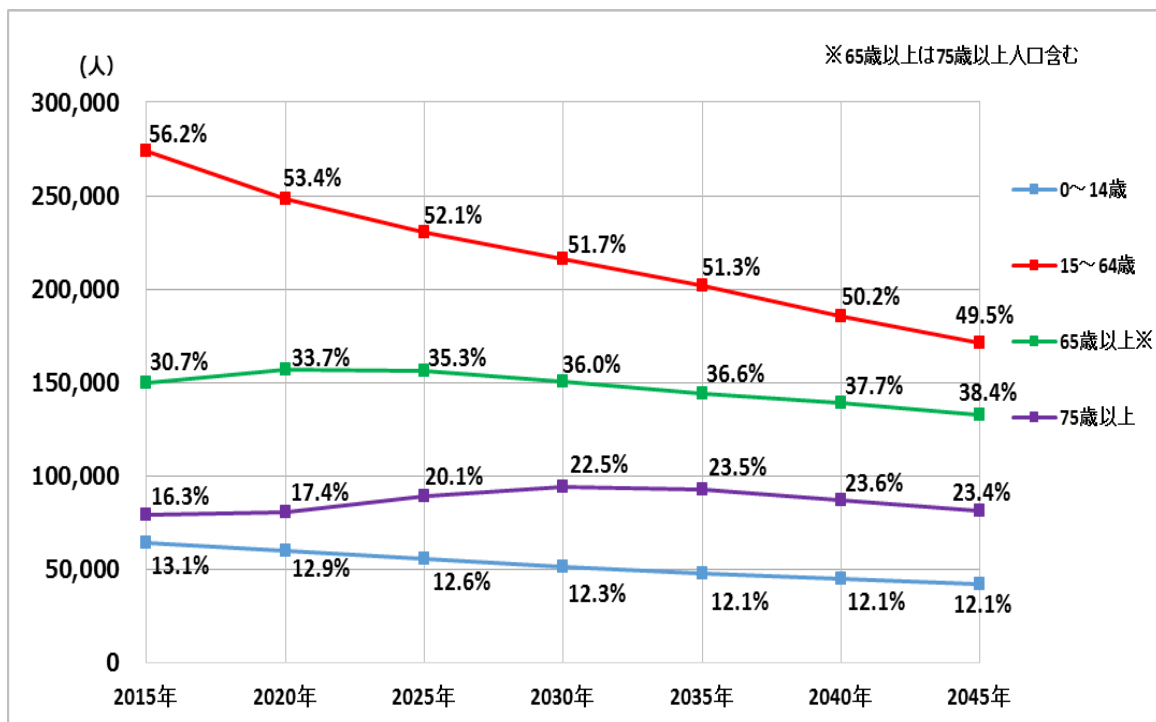
(出典) 「平成27年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年3月）

[図表 2-2 圏域の年齢別人口長期推移]



(出典) 「平成27年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年3月）

[図表 2-3 圏域の年齢別人口構成比率推移]

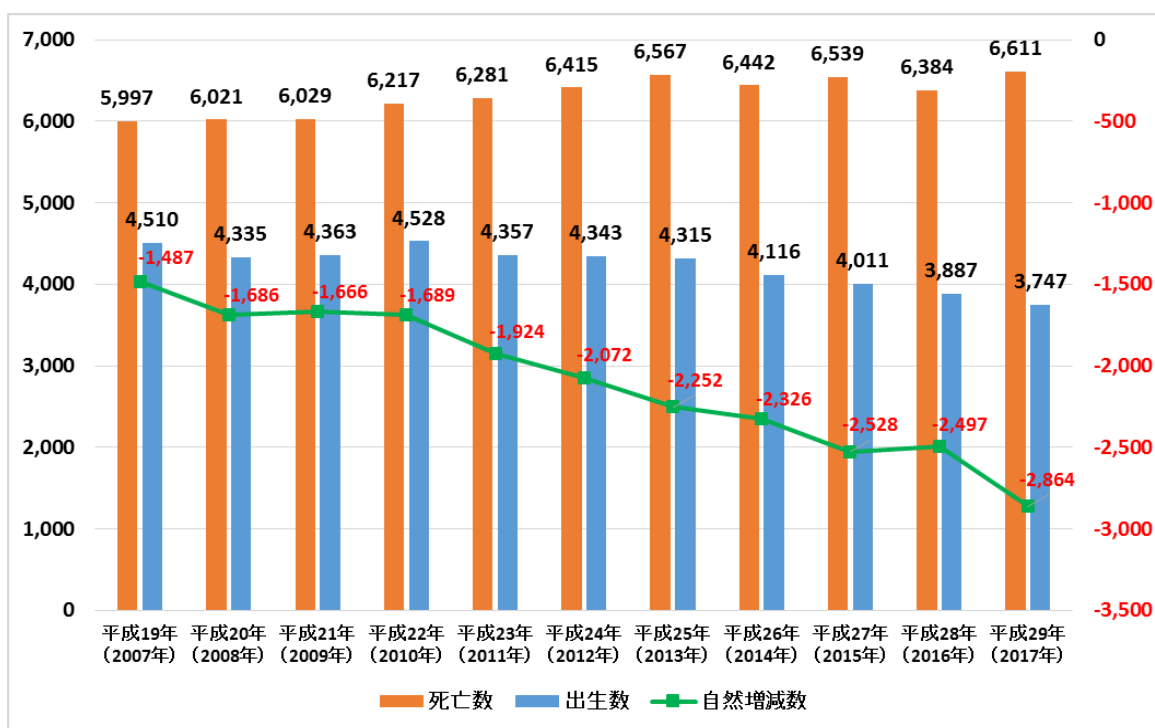


(出典) 「平成 27 年国勢調査」、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成 30 年 3 月)

(3) 圏域の自然動態

少子高齢化の進行により、圏域の自然動態は出生数が減少、死亡数が増加の傾向となっており、平成 22 年以降は自然減の拡大傾向で推移しています。

[図表 3-1 圏域の自然動態の推移]



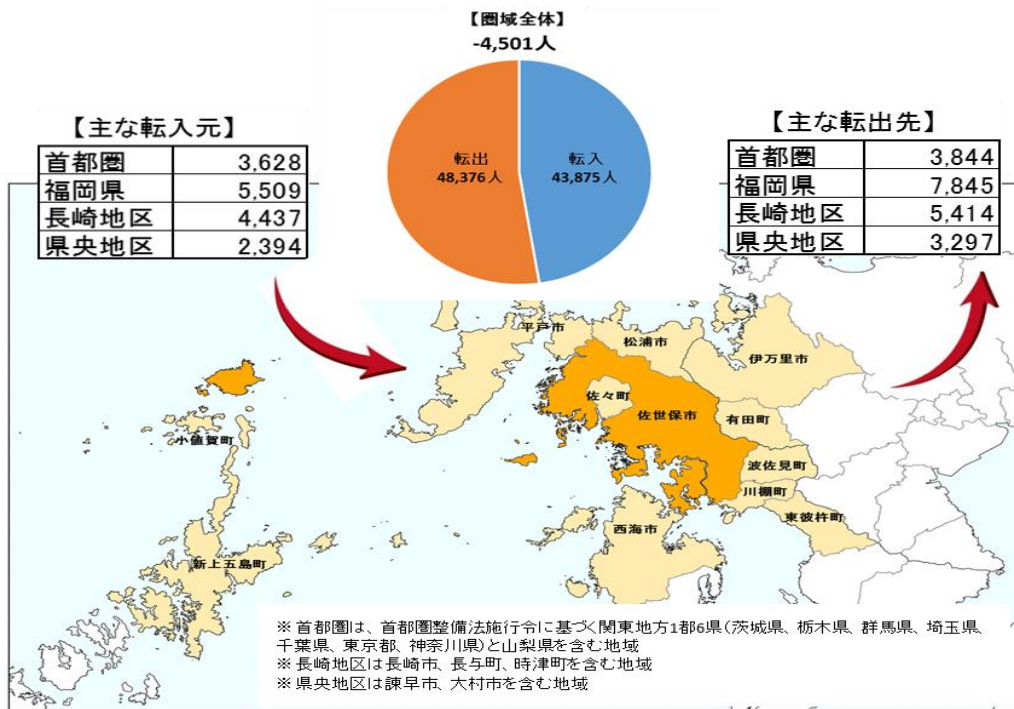
(出典) 長崎県異動人口調査、伊万里市・有田町提供データ

(4)圏域の社会動態

本圏域全体では、4,501人の転出超となっています。特に首都圏、福岡県への転出者数は11,689人で、転出者全体の約24.2%を占め、約4人に1人が転出しています。

本圏域内の動きでは、佐世保市、東彼杵町、波佐見町、佐々町、伊万里市、有田町が転入超となっているものの、圏域外の動きも合わせると、波佐見町、佐々町を除き、転出超となっています。

〔図表 3-2 圏域の社会動態の状況〕



(出典) 「平成 27 年国勢調査」 (5 年前 (平成 22 年 10 月 1 日) の居住地移動状況集計)

〔図表 3-3 構成市町における居住地移動状況〕

	圏域内計 ①	①の内訳												圏域外計 ②	②の内訳 (一部)				計③ ①+②
		佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町		福岡県	首都圏	長崎地区	県央地区	
佐世保市	740		497	226	293	11	3	▲132	22	▲192	78	▲13	▲53	▲1,021	▲1,228	▲251	▲215	▲283	▲281
平戸市	▲644	▲497		▲27	7	▲2	▲4	▲7	▲2	▲94	9	▲29	2	▲613	▲210	49	▲73	▲93	▲1,257
松浦市	▲491	▲226	27		▲3	2	▲4	2	0	▲41	▲4	▲210	▲34	▲174	▲86	6	▲35	▲67	▲665
西海市	▲325	▲293	▲7	3		▲4	▲15	▲6	1	0	▲2	▲2	0	▲307	▲72	10	▲284	▲116	▲632
東彼杵町	60	▲11	2	▲2	4		64	▲4	0	▲2	9	▲2	2	▲170	▲22	19	▲9	▲97	▲110
川棚町	▲95	▲3	4	4	15	▲64		▲41	4	2	4	▲11	▲9	▲244	▲96	▲7	▲60	▲99	▲339
波佐見町	177	132	7	▲2	6	4	41		▲4	4	1	▲13	1	▲152	▲61	▲3	20	4	25
小値賀町	▲22	▲22	2	0	▲1	0	▲4	4		0	▲2	0	1	10	21	22	▲10	▲14	▲12
佐々町	322	192	94	41	0	2	▲2	▲4	0		▲5	▲4	8	▲227	▲76	▲4	▲12	▲10	95
新上五島町	▲90	▲78	▲9	4	2	▲9	▲4	▲1	2	5			2	▲598	▲156	34	▲248	▲106	▲688
伊万里市	241	13	29	210	2	2	11	13	0	4	▲2		▲41	▲629	▲221	▲74	▲32	▲18	▲388
有田町	127	53	▲2	34	0	▲2	9	▲1	▲1	▲8	4	41		▲376	▲129	▲17	▲19	▲4	▲249
合計	0	▲740	644	491	325	▲60	95	▲177	22	▲322	90	▲241	▲127	▲4,501	▲2,336	▲216	▲977	▲903	▲4,501

※5 年前 (平成 22 年 10 月 1 日) の居住地移動状況集計 (5 年前にどこに居住していたのか)

※首都圏は、首都圏整備法施行令に基づく関東地方 1 都 6 県 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県) と山梨県を含む地域、長崎地区は長崎市、長与町、時津町を含む地域、県央地区は諫早市、大村市を含む地域

(出典) 「平成 27 年国勢調査」 (5 年前 (平成 22 年 10 月 1 日) の居住地移動状況集計)

(4)圏域内自治体から佐世保市への通勤・通学の状況

佐世保市への通勤通学割合は、佐々町、川棚町、波佐見町及び西海市が10%を超えており、その中でも佐々町から佐世保市への通勤通学割合が44.7%と高くなっています。

[図表 4-1 佐世保市への通勤通学割合]

構成市町	常在する 就業・通学者数(人) (A)	佐世保市への 就業・通学者数(人) (B)	佐世保市への 通勤通学割合(%) (C) = (B) / (A) × 100
平戸市	14,862	1,074	7.2
松浦市	11,788	972	8.2
西海市	14,120	1,436	10.2
東彼杵町	4,234	356	8.4
川棚町	7,712	1,862	24.1
波佐見町	8,295	1,748	21.1
小値賀町	898	1	0.1
佐々町	7,685	3,433	44.7
新上五島町	9,148	7	0.1
伊万里市	30,519	582	1.9
有田町	10,959	869	7.9

※「常在する就業・通学者数」は、自宅で従業する者の数を除く。

(出典) 「平成27年国勢調査」

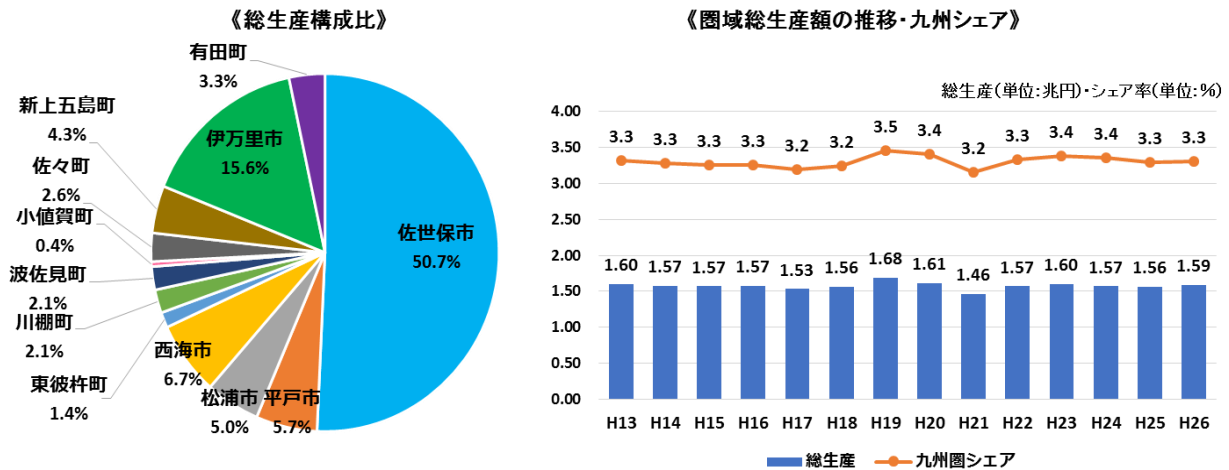
3. 圏域内の産業の状況

(1) 産業全体

① 総生産・市民所得

本圏域の総生産は 1.6 兆円前後、圏域の総生産の半分は佐世保市、次に伊万里市が大きなウェイトを占めています。また、九州圏（沖縄含む）におけるシェアは 3.3%程度で一定しています。一方、本圏域における市民所得は伊万里市がトップ、2 位は西海市となっています。

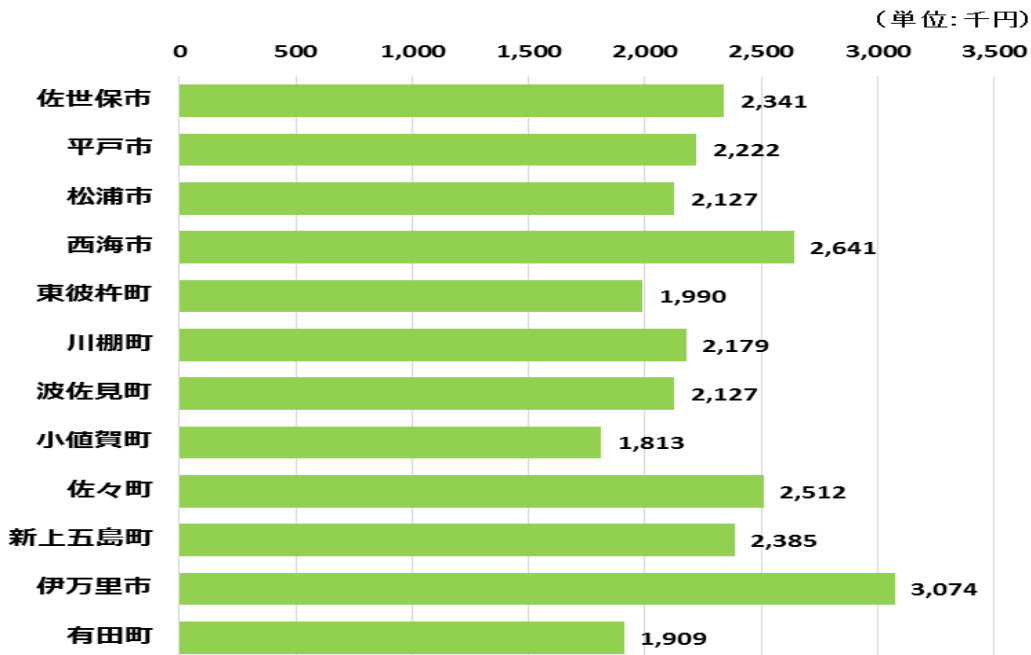
〔図表 5-1 圏域の総生産〕



(出典) 長崎県・佐賀県「平成 26 年度市町民経済計算」

〔図表 5-2 圏域の市民所得〕

《市民 1 人当たり市民所得》



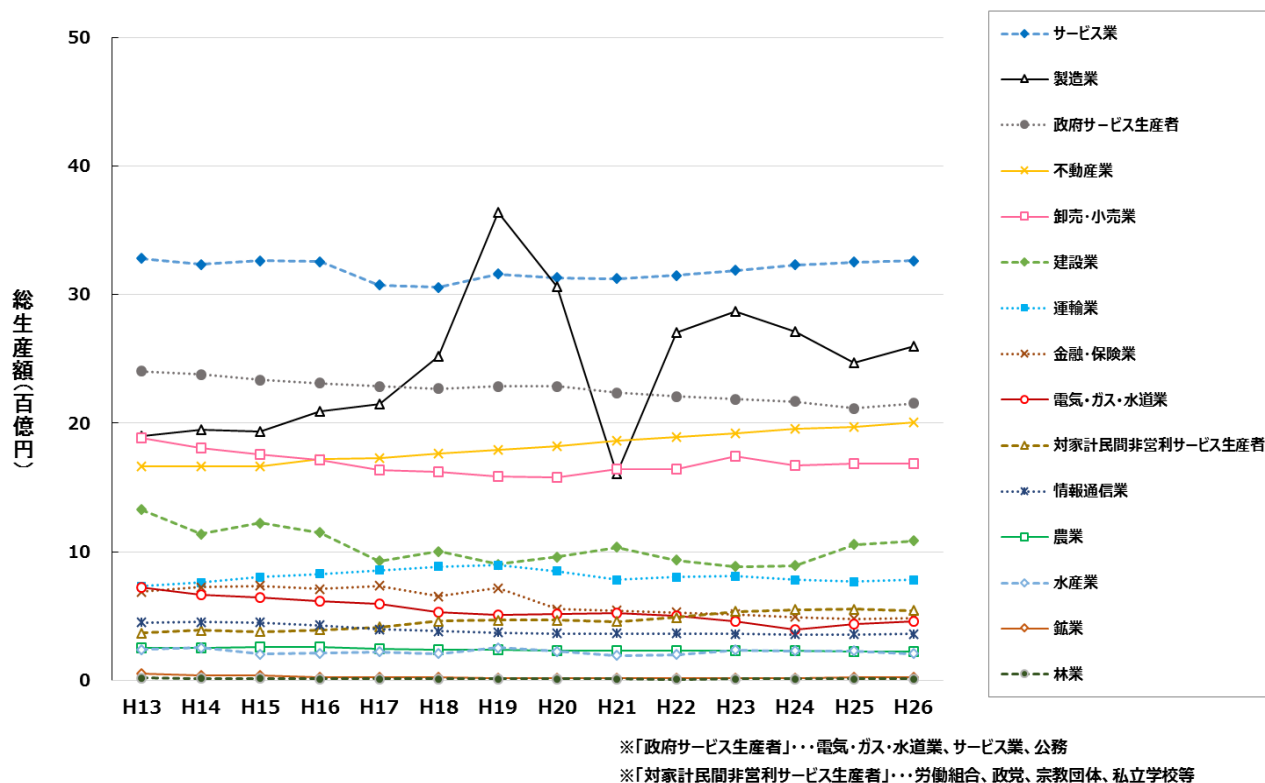
※市民所得とは、市内に居住している者（法人等を含む）に分配される所得のことであり、雇用者報酬、財産所得、企業所得で構成。なお、「1 人当たり市民所得」は、市民所得を推計人口で除したものであり、個人の所得水準を表すものではなく、企業の利潤などを含んだ市町の経済全体の所得水準を表す。

(出典) 長崎県・佐賀県「平成 26 年度市町民経済計算」

②総生産（経済活動別）

本圏域の総生産を経済活動別に見てみると、「サービス業」、「製造業」、「政府サービス生産者」が大きな産業となっています。年度ごとの推移として、「製造業」におけるリーマンショックの影響と思われる落ち込みが顕著となっていますが、その他の産業は概ね長期的に横ばい傾向となっています。

〔図表 5-3 圏域の総生産（経済活動別）〕

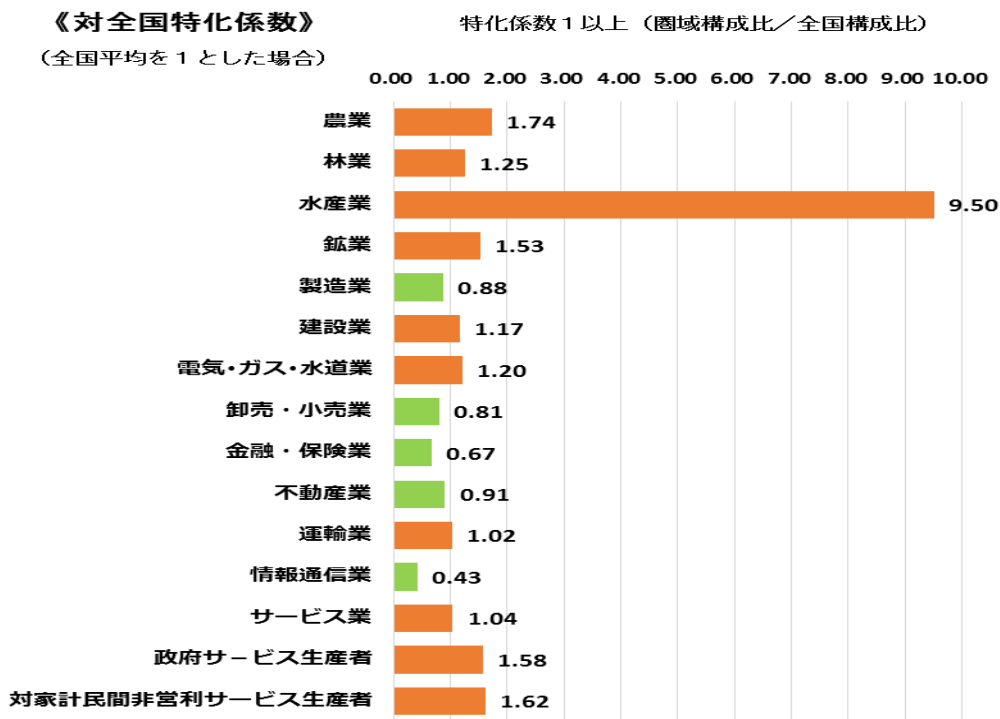


(出典) 長崎県・佐賀県「平成 26 年度市町民経済計算」

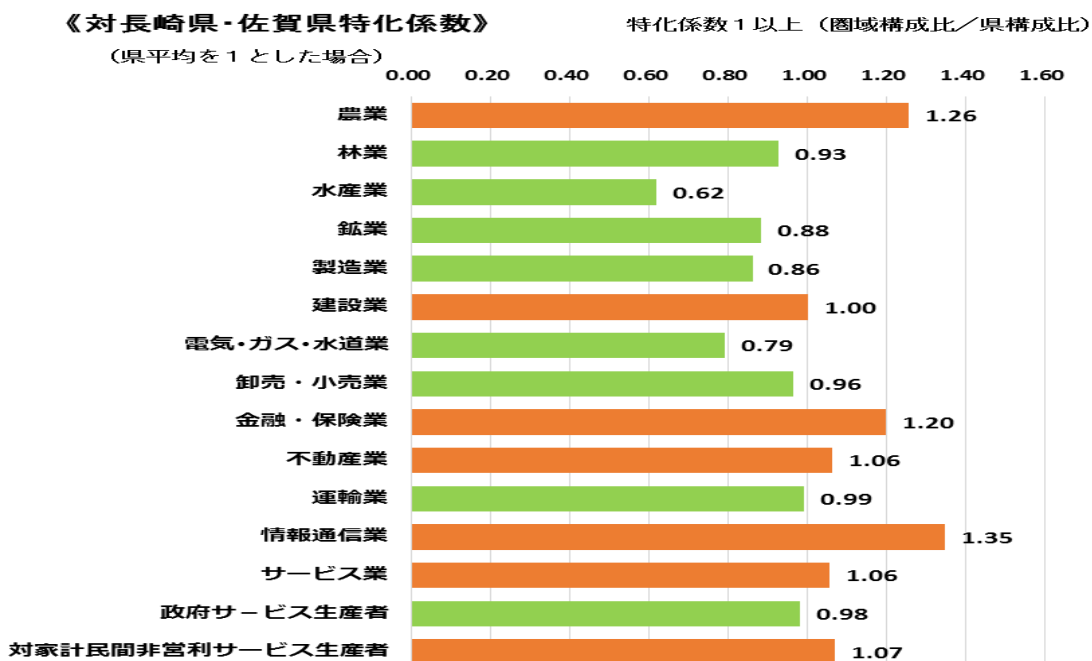
③総生産（産業別：特化係数）

産業別の特化傾向を見ると、全国比較では、第一次産業である水産業の特化が著しくなっています。また、長崎県・佐賀県比較では情報通信業、農業、金融・保険業等に特化傾向が見られます。

〔図表 5-4 圏域の総生産（産業別特化係数）〕



※「政府サービス生産者」・・・電気・ガス・水道業、サービス業、公務
 ※「対家計民間非営利サービス生産者」・・・労働組合、政党、宗教団体、私立学校
 ※特化係数=〇〇市の●●産業構成比 ÷ 全国の●●産業構成比
 「1」より大きい産業は全国水準を上回っていることを示す

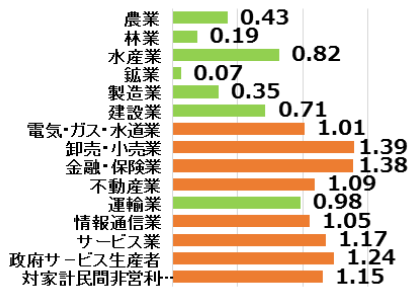


(出典) 長崎県・佐賀県「平成26年度市町民経済計算」

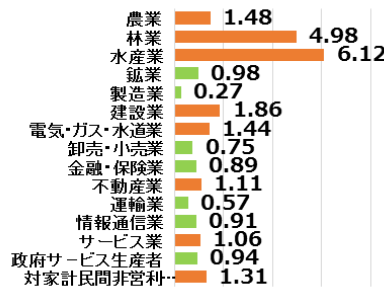
〔図表 5-5 圏域の総生産（産業別特化係数）構成市町別〕

■ 特化係数1以上（自市町構成比／圏域構成比）

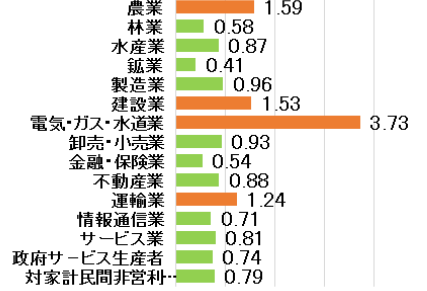
《佐世保市》 0.00 0.50 1.00 1.50



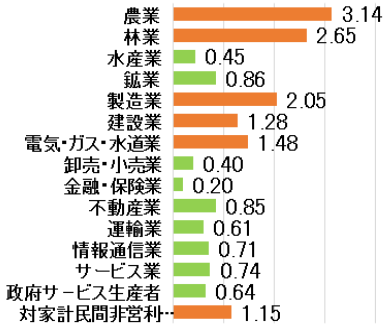
《平戸市》 0.002.004.006.008.00



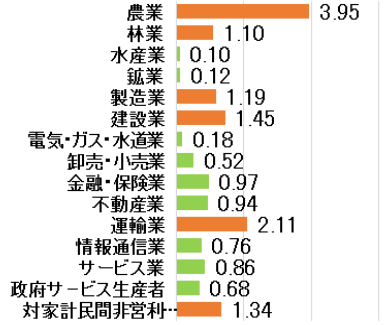
《松浦市》 0.00 1.00 2.00 3.00 4.00



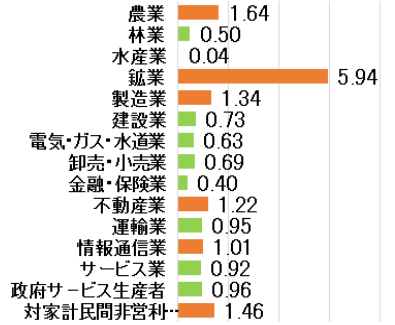
《西海市》 0.00 1.00 2.00 3.00 4.00



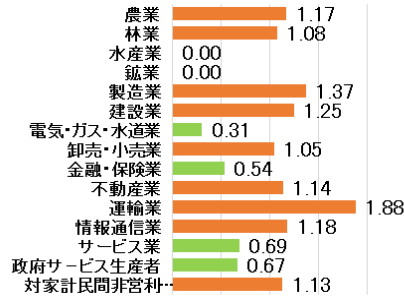
《東彼杵町》 0.00 2.00 4.00 6.00



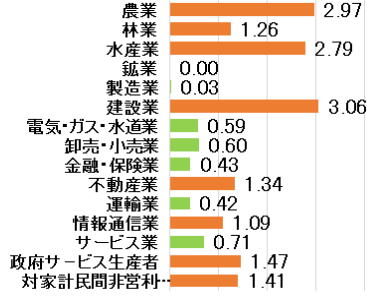
《川棚町》 0.00 2.00 4.00 6.00 8.00



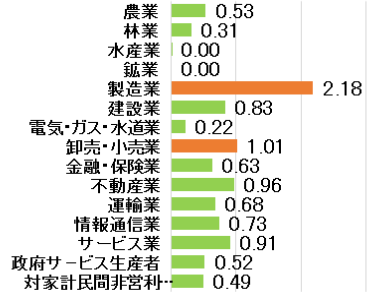
《波佐見町》 0.00 0.50 1.00 1.50 2.00



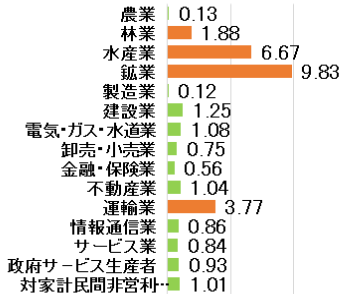
《小値賀町》 0.00 1.00 2.00 3.00 4.00



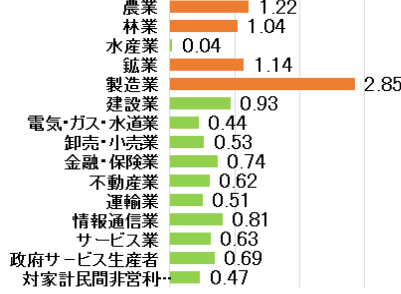
《佐々町》 0.00 1.00 2.00 3.00



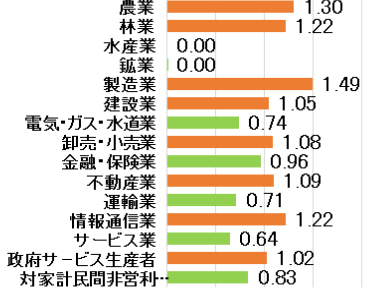
《新上五島町》 0.00 5.00 10.00 15.00



《伊万里市》 0.00 1.00 2.00 3.00



《有田町》 0.00 0.50 1.00 1.50 2.00



（出典）長崎県・佐賀県「平成 26 年度市町民経済計算」

④産業別事業所数及び従業員数

本圏域内の12市町合計の総事業所数は23,941箇所、総従業者数は212,274人で、そのうち事業所数47.8%、従業者数52.7%が佐世保市に集中しています。

その中で、第一次産業では佐世保市、平戸市、松浦市、西海市に事業所及び従業者の集積が見られるほか、第二次産業では佐世保市、伊万里市、波佐見町の集積が大きくなっており、第三次産業でも佐世保市、伊万里市の集積が大きくなっていきます。

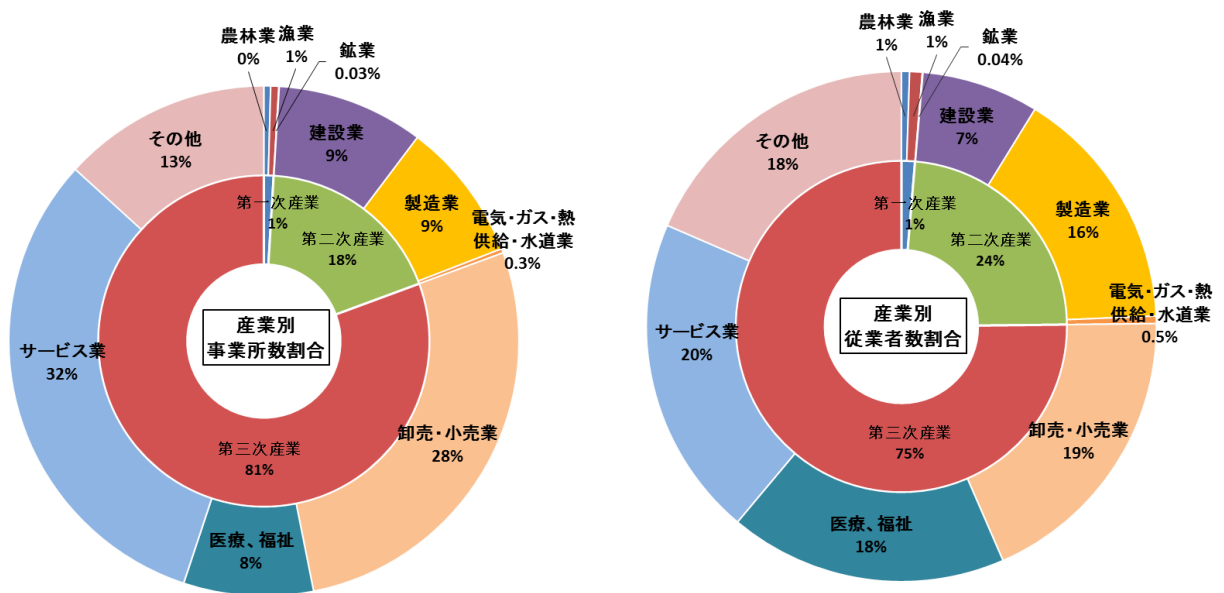
〔図表 6-1 構成市町の産業別事業所数及び従業員数（産業別）〕

(単位：事業所、人)

	合計		第一次産業		第二次産業		第三次産業	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
佐世保市	11,435	111,903	63	1,071	1,629	17,426	9,743	93,406
平戸市	1,853	12,255	31	400	346	2,517	1,476	9,338
松浦市	1,135	9,524	44	348	189	2,988	902	6,188
西海市	1,254	11,301	36	356	240	3,714	978	7,231
東彼杵町	316	3,030	2	14	81	802	233	2,214
川棚町	578	4,934	1	8	112	1,570	465	3,356
波佐見町	992	7,124	2	21	469	3,535	521	3,568
小値賀町	180	819	3	16	29	121	148	682
佐々町	704	6,139	3	39	124	2,259	577	3,841
新上五島町	1,338	7,590	24	274	246	1,311	1,068	6,005
伊万里市	2,811	28,330	14	208	550	9,963	2,247	18,159
有田町	1,345	9,325	3	37	398	3,684	944	5,604
合計	23,941	212,274	226	2,792	4,413	49,890	19,302	159,592

(出典) 「平成 26 年経済センサス基礎調査」

〔図表 6-2 圏域の産業別事業所数割合及び従業員数割合（産業別）〕



(出典) 「平成 26 年経済センサス基礎調査」

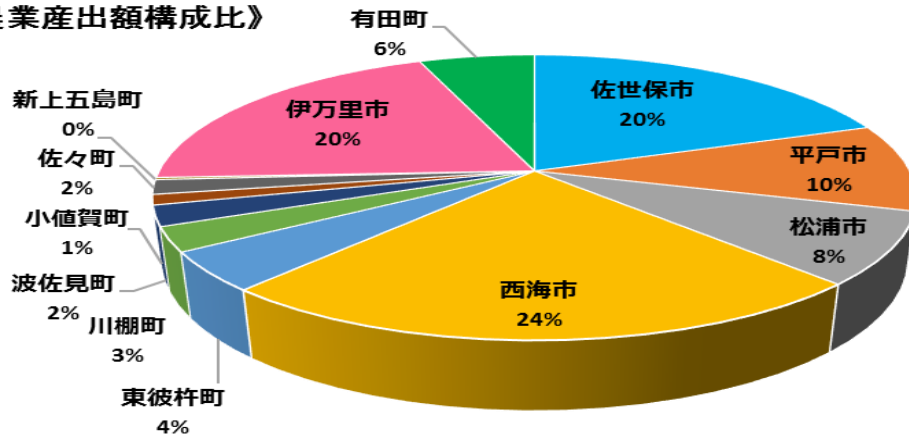
(2)農林業

①農業産出額

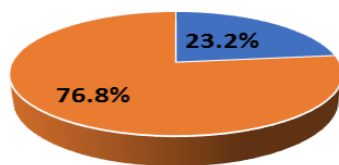
農業産出額では西海市が圏域内シェア率 24%でトップとなっており、次に伊万里市、佐世保市が続いています。

〔図表 7-1 圏域の農業産出額〕

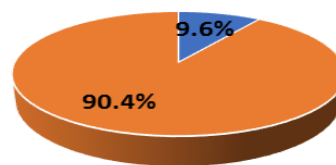
《農業産出額構成比》



長崎県シェア率



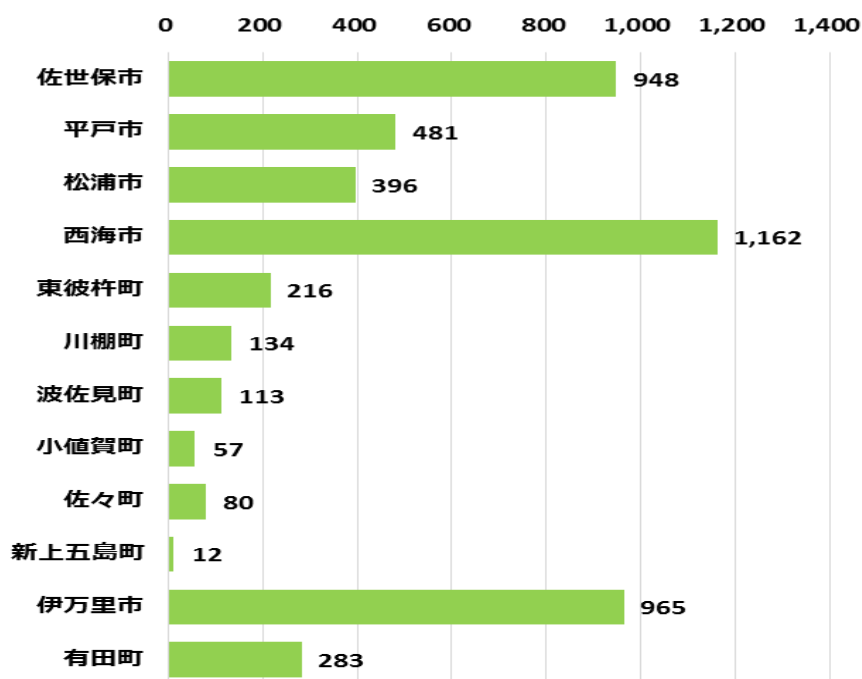
佐賀県シェア率



■ 西九州させぼ広域都市圏 ■ 県内他地域

■ 西九州させぼ広域都市圏 ■ 県内他地域

《農業産出額(単位:1000万円)》



(出典) 農林水産省「平成 27 年市町村別農業産出額(推計)」

〔図表 7-2 品目別農業産出額 上位 5 品目：構成市町別〕

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
佐世保市	野菜(209)	肉用牛(176)	果実(175)	米(142)	乳用牛(80)
平戸市	肉用牛(159)	野菜(132)	米(109)	いも類(24)	工芸農作物(15)
松浦市	肉用牛(99)	野菜(79)	米(75)	工芸農作物(29)	鶏(21)
西海市	豚(470)	野菜(243)	果実(176)	肉用牛(68)	鶏・花き(53)
東彼杵町	工芸農作物(51)	野菜(48)	肉用牛・米(34)	加工農産物(20)	果実(15)
川棚町	肉用牛(48)	野菜(28)	花き(23)	米(14)	鶏(4)
波佐見町	米(40)	肉用牛(26)	野菜(23)	鶏(10)	果実(4)
小値賀町	肉用牛(32)	野菜(11)	米(9)	いも類(3)	豆類(1)
佐々町	肉用牛(26)	野菜(21)	米(17)	鶏(9)	工芸農作物(4)
新上五島町	肉用牛(4)	野菜(3)	花き(1)	米(1)	-
伊万里市	肉用牛(246)	野菜(210)	果実(194)	米(155)	鶏(132)
有田町	鶏(154)	肉用牛(44)	米(35)	野菜(24)	果実(9)

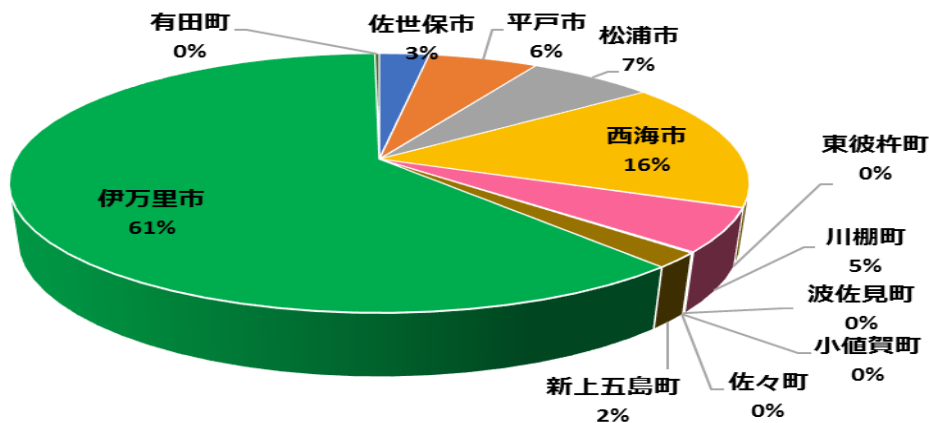
(出典) 農林水産省「平成 27 年市町村別農業産出額(推計)」

②林業総収入

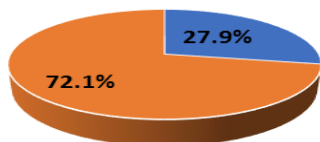
林業総収入では、伊万里市が圏域内シェア率 61%でトップとなっており、次に西海市が続いています。また、佐賀県構成市町の自県内シェア率も高くなっています。

〔図表 7-3 圏域の林業総収入〕

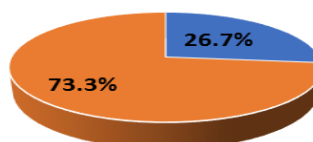
《林業総収入(総額)構成比》



長崎県シェア率



佐賀県シェア率

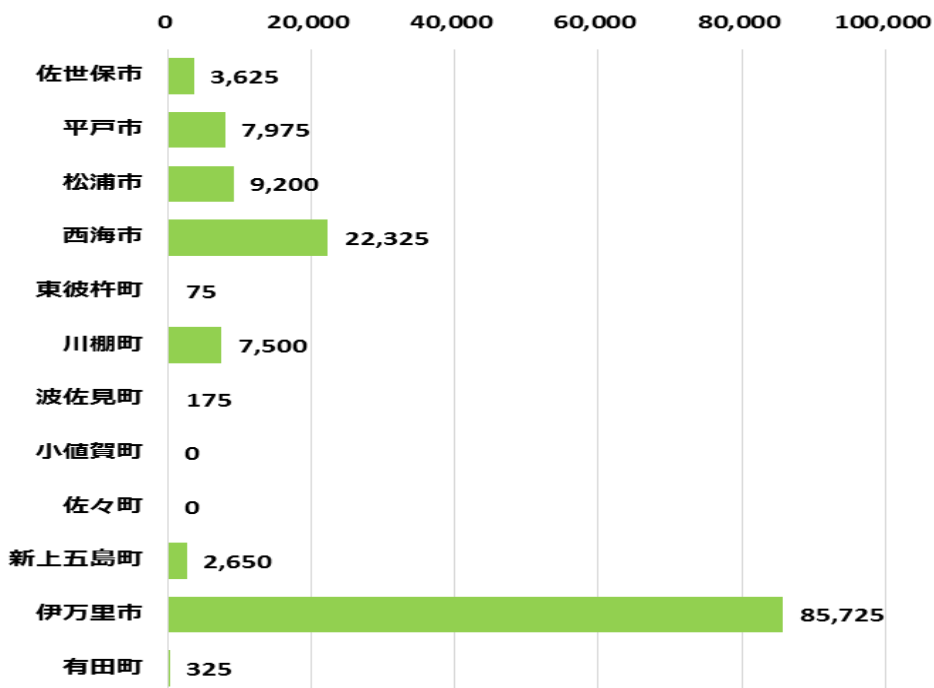


■ 西九州させぼ広域都市圏 ■ 県内他地域

■ 西九州させぼ広域都市圏 ■ 県内他地域

《林業総収入(総額)》

(単位:万円)

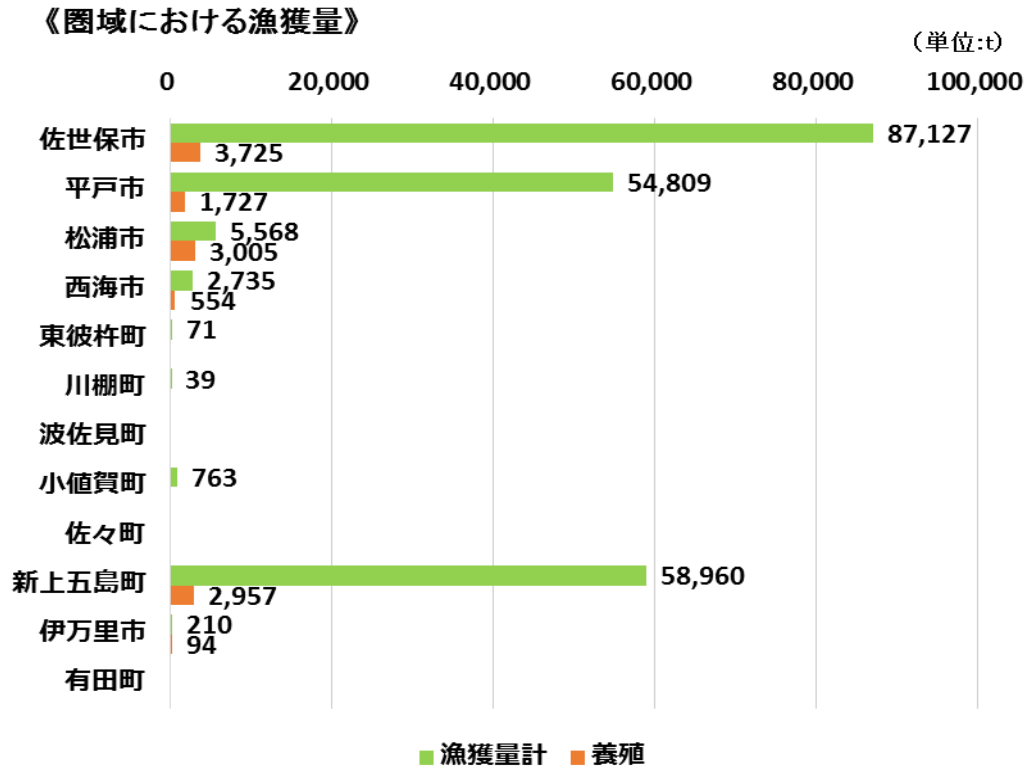


(出典) 2015 農林水産省「農林業センサス」再編加工

(3)水産業

佐世保市が漁獲量、養殖ともトップとなっており、続いて新上五島町、平戸市のシェアが高くなっています。

〔図表 8-1 圏域の海面・養殖漁業漁獲量〕



《魚種別・海面漁獲量 上位5種》

圏域	魚種	漁獲量 (t)	圏域	魚種	漁獲量 (t)	圏域	魚種	漁獲量 (t)
佐世保市	かたくちいわし	24,905	平戸市	さば類	21,487	松浦市	かたくちいわし	2,316
	うるめいわし	18,034		まあじ	15,508		その他の魚類	918
	さば類	13,394		ぶり類	4,499		さば類	506
	まあじ	13,415		その他の魚類	3,565		まあじ	475
	その他の魚類	5,690		まいわし	2,705		その他の海藻類	338
西海市	かたくちいわし	1,257	東彼杵町	その他の水産動物類	19	川棚町	その他の水産動物類	10
	さば類	317		その他の魚類	12		その他のえび類	4
	その他の魚類	257		かさみ類	7		このしろ・くろだい、へだ	3
	まあじ	255		その他のいか類・たこ類	6		い・その他の魚類・その	3
	その他の海藻類	114		その他の水産動物類	19		他の海藻類	3
小値賀町	ぶり類	238	新上五島町	さば類	22,327	伊万里市	その他の魚類	105
	その他の魚類	171		まあじ	22,003		かたくちいわし	65
	いさき	128		ぶり類	5,183		しらす	8
	その他のいか類	33		その他の魚類	3,928		あなご類・その他のいか類	2
	まだい	31		するめいか	1,952		その他の魚類	105

《魚種別・養殖漁獲量 上位5種》

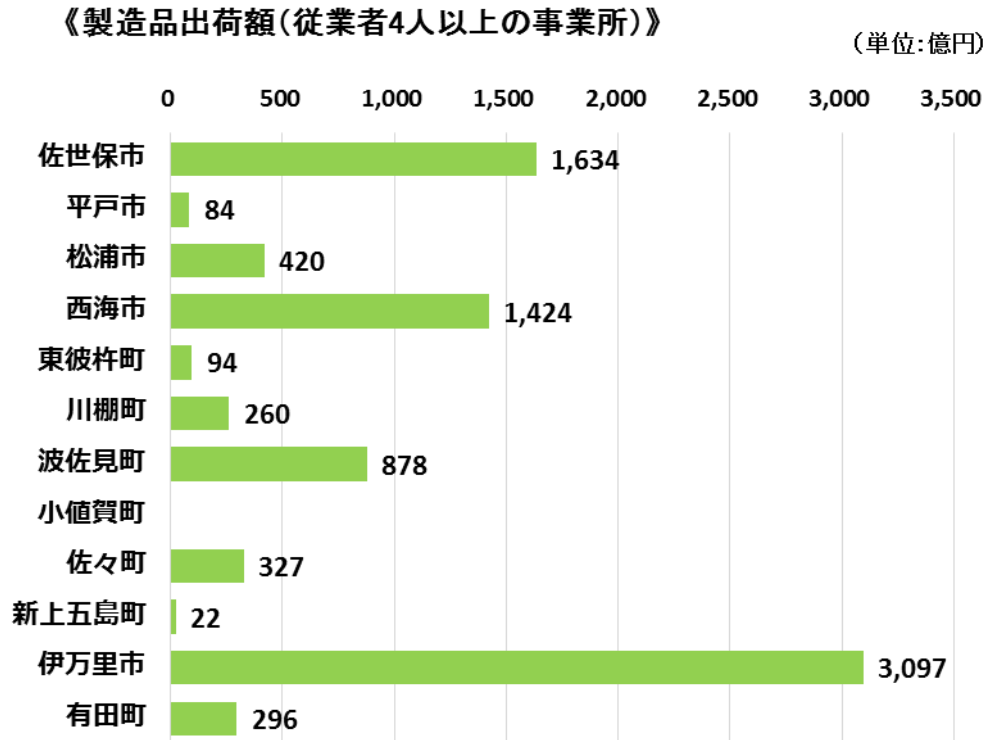
圏域	魚種	漁獲量 (t)	圏域	魚種	漁獲量 (t)	圏域	魚種	漁獲量 (t)
佐世保市	ぶり	1,237	平戸市	ぶり	1,228	松浦市	ぶり	1,267
	新円真珠(大玉)	927		まだい	168		ふぐ類	596
	まだい	613		新円真珠(中玉)	119		まだい	432
	ふぐ類	487		ふぐ類	111		くろまぐろ	308
	新円真珠(中玉)	478		新円真珠(大玉)	110		その他の魚類	100
西海市	わかめ類	158	新上五島町	ぶり	1,966	伊万里市	ふぐ類	42
	新円真珠(中玉)	134		その他のぶり類	404		かき類(殻付き)	10
	まだい・かき類(殻付き)	58		くろまぐろ	210		—	—
	—	—		かんぱち	206		—	—

(出典) 「平成 27 年海面漁業生産統計調査」

(4)製造業

造船業（輸送用機械器具製造業）を中心とした工業集積が進んでいます。圏域内では、伊万里市、佐世保市、西海市が高いシェアを占めています。

〔図表 9-1 圏域の製造品出荷額〕



《分野別製造品出荷額(従業者4人以上の事業所)》

(単位:億円)

市町村	業種	出荷額 (億円)	市町村	業種	出荷額 (億円)	市町村	業種	出荷額 (億円)
佐世保市	輸送用機械器具製造業	418	平戸市	食料品製造業	23	松浦市	食料品製造業	124
	食料品製造業	256		輸送用機械器具製造業	20		輸送用機械器具製造業	74
	はん用機械器具製造業	191		窯業・土石製品製造業	17		繊維工業	43
	鉄鋼業	158		繊維工業	7		-	-
	飲料・たばこ・飼料製造業	152		プラスチック製品製造業	7		-	-
西海市	輸送用機械器具製造業	1,428	東彼杵町	窯業・土石製品製造業	7	川棚町	窯業・土石製品製造業	75
	金属製品製造業	19		飲料・たばこ・飼料製造業	4		-	-
	窯業・土石製品製造業	19		-	-		-	-
	繊維工業	10		-	-		-	-
	食料品製造業	9		-	-		-	-
波佐見町	窯業・土石製品製造業	53	小値賀町	-	-	佐々町	食料品製造業	299
	金属製品製造業	19		-	-		-	-
	飲料・たばこ・飼料製造業	4		-	-		-	-
	-	-		-	-		-	-
	-	-		-	-		-	-
新上五島町	食料品製造業	14	伊万里市	輸送用機械器具製造業	1,301	有田町	窯業・土石製品製造業	115
	窯業・土石製品製造業	6		電子部品・デバイス・電子回路製造業	1,154		その他の製造業	58
	-	-		食料品製造業	167		電気機械器具製造業	32
	-	-		木材・木製品製造業	125		食料品製造業	32
	-	-		電気機械器具製造業	65		はん用機械器具製造業	21

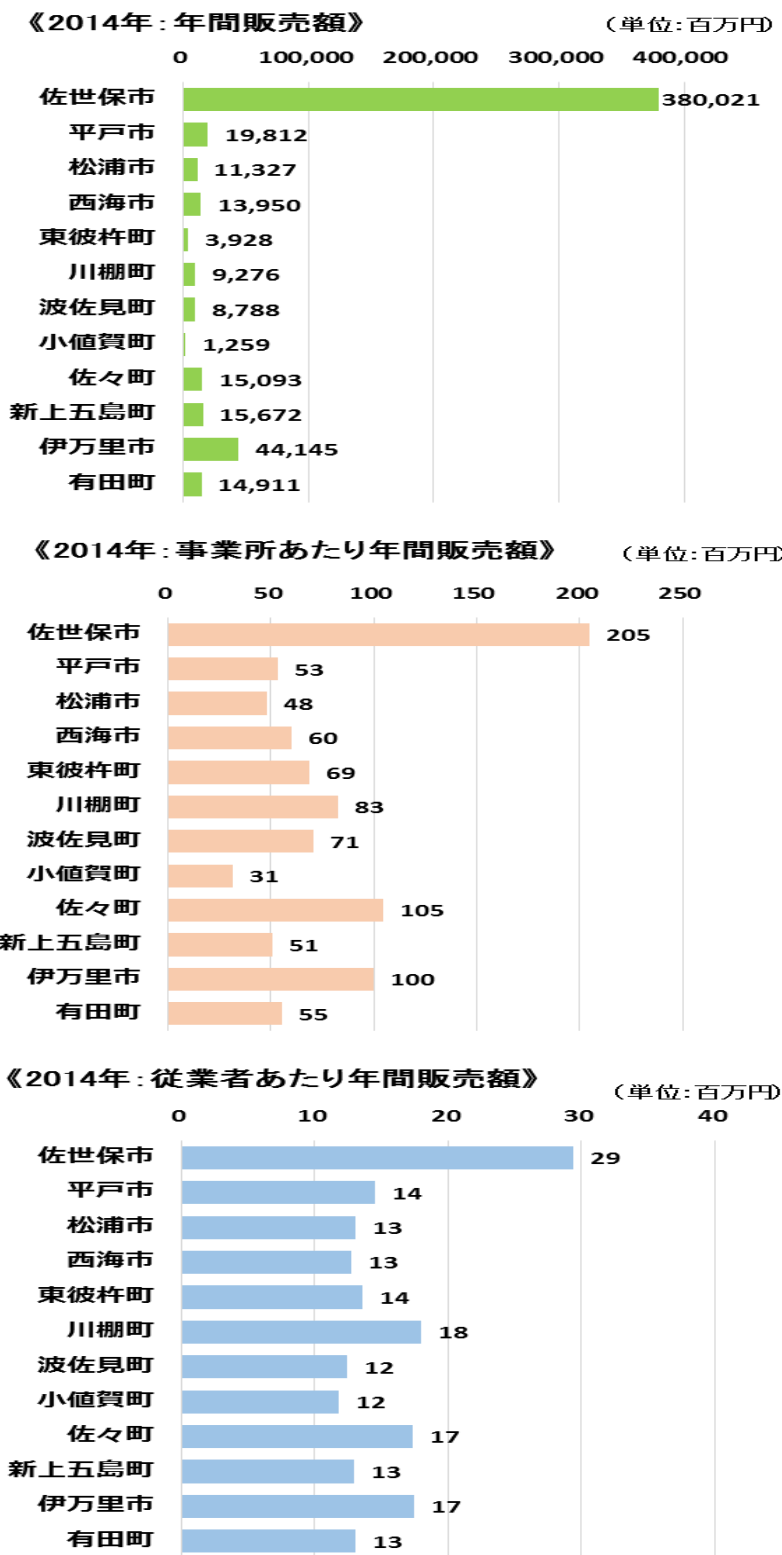
(出典) 「平成 26 年工業統計調査 (従業員 4 人以上の事業所)」

(5)小売業

①小売業年間販売額

佐世保市が年間商品販売額（総額、店舗あたり、従業者あたり）はトップとなっています。事業所あたりの年間商品販売額は佐々町や伊万里市で高くなっています。

〔図表 10-1 圏域の小売年間販売額〕



(出典) 「平成 26 年商業統計調査」

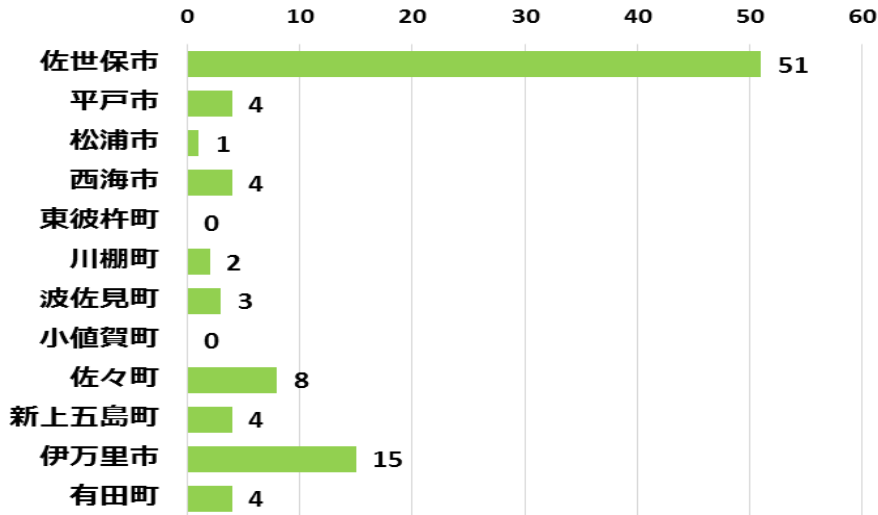
②大型小売店舗数

大型小売店舗数は、佐世保市が最も多く、次に伊万里市が続いています。

〔図表 10-2 圏域の大型小売店舗数〕

《大型小売店舗数(店舗面積1000平方メートル超)》

(単位:店舗)



《主な大型小売店舗》

佐世保市	ショッピングセンター	イオン大塔店
	ショッピングセンター	させほ五番街
	ホームセンター	コメリホームセンター佐世保店
	総合スーパー	イオン佐世保店
	百貨店	佐世保玉屋
	ホームセンター	ホームセンターコーナン大塔店
	寄合百貨店	ハウスデンボス
	ショッピングセンター	ヤマダ電機テックランド佐世保本店
	専門店	西沢ショッピングセンター
	総合スーパー	イオン佐世保白岳店
	専門店	アルバ西沢
	ホームセンター	ホームワイド・マックスバリュ早岐店
	食品スーパー	エレナフレスタ店
	食品スーパー	エレナ大野店
	ホームセンター	ホームプラザナフコ佐世保東店
	専門店	ニトリ佐世保店
	食品スーパー	ラブラプレイス佐世保
	専門店	ベスト電器佐世保本店、ゲオ佐世保大塔店
	ホームセンター	ホームプラザナフコ佐世保みなとインター店家具館
	専門店	ヒマラヤスポーツ&ゴルフ佐世保店
	食品スーパー	まるたか生鮮市場早岐店
	食品スーパー	マックスバリュ白岳店
	総合スーパー	スーパーセンタートライアル佐世保大和店
	専門店	エディオン佐世保店
	総合スーパー	ドン・キホーテ佐世保店
	食品スーパー	レッドキャベツ大和店
	食品スーパー	エレナ相浦店
	食品スーパー	エレナ大塔店
	専門店	近藤家具大塔店
	専門店	ダイソー佐世保矢峰店、西松屋佐世保矢峰店
	食品スーパー	マックスバリュ中里店
	食品スーパー	マックスバリュ池野店
	専門店	リビングミュージアム・リム
	総合スーパー	ダイレックス矢峰店
	総合スーパー	ダイレックス佐世保店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス鹿町店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス中里店
	食品スーパー	エレナ天神店
	専門店	シュープラザ矢峰店
	食品スーパー	まつばや吉井店
専門店	ドラッグストアモリ白岳店	
専門店	ウェニス本館	
専門店	ハードオフ・オフハウス佐世保店	
専門店	ディスカウントドラッグコスモス早苗店	
専門店	ディスカウントドラッグコスモス白野店	
食品スーパー	まつばや相浦店	
ホームセンター	ホームセンターユートク相浦店	
専門店	プリスにしやま早岐店	
食品スーパー	マルキョウ大宮店	
専門店	チヨダ	
専門店	ドラッグストアモリ矢峰店	
平戸市	専門店	ドラッグストアモリ平戸店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス平戸店
	専門店	ベスト電器平戸店
	総合スーパー	ダイレックス平戸店
松浦市	専門店	ディスカウントドラッグコスモス松浦店
	ホームセンター	ホームプラザナフコ西海店
西海市	寄合百貨店	大島薬市商店街
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス西海店
川棚町	寄合百貨店	大瀬戸ショッピング
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス川棚店、グリーン東彼新鮮市場
波佐見町	食品スーパー	エレナ川棚店
	ホームセンター	ホームプラザナフコ波佐見店
佐々町	食品スーパー	エレナ波佐見店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス波佐見店
	食品スーパー	マックスバリュ佐々店
	ホームセンター	ホームプラザナフコ佐々店
	食品スーパー	エレナ佐々店、しまむら佐々店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス佐々店
	専門店	ライルスタイルマーケット
新上五島町	専門店	ドラッグストアモリ鶴川店
	専門店	佐々ショッピングデパート
	総合スーパー	ダイレックス佐々店
	ホームセンター	テラタホームセンター
	食品スーパー	KAMITY
	ホームセンター	オサダ上五島店
	ホームセンター	ホームセンタービッグヒライ上五島店
	ホームセンター	グッディ伊万里店
	ホームセンター	ホームプラザナフコ伊万里店
	総合スーパー	ミスターマックス伊万里店
伊万里市	ホームセンター	ホームセンターユートク伊万里店
	食品スーパー	マックスバリュ伊万里駅前店
	総合スーパー	ダイレックス伊万里松島店、ダイソー伊万里松島店
	食品スーパー	エレナ伊万里店
	専門店	ベスト電器伊万里店
	専門店	T S U T A Y A伊万里店
	専門店	ヤマダ電機テックランド伊万里店
	食品スーパー	ドラッグ&フレッシュトライアル伊万里店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス伊万里中央店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス伊万里店
	専門店	ブックオフ伊万里店
	総合スーパー	ダイレックス伊万里店
有田町	ホームセンター	ホームセンターユートク有田店
	ホームセンター	ホームプラザナフコ有田店
	食品スーパー	マックスバリュ有田店
	専門店	ディスカウントドラッグコスモス佐賀有田店

(出典)「大型店舗総覧 2018 (店舗面積 1000 平方メートル超)」

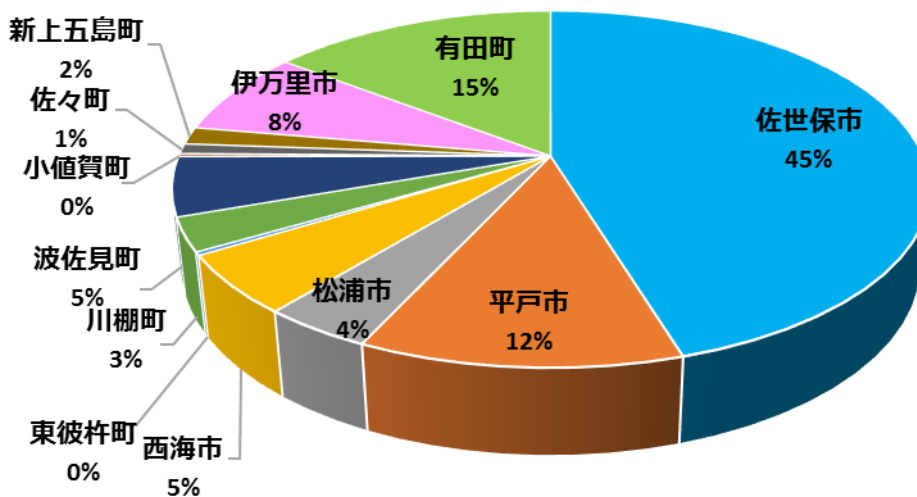
(6)観光業

①観光客数

佐世保市が圏域全体の観光客数割合 45%で最も多く、圏域全体では平成 21 年以降、増加傾向が続いています。

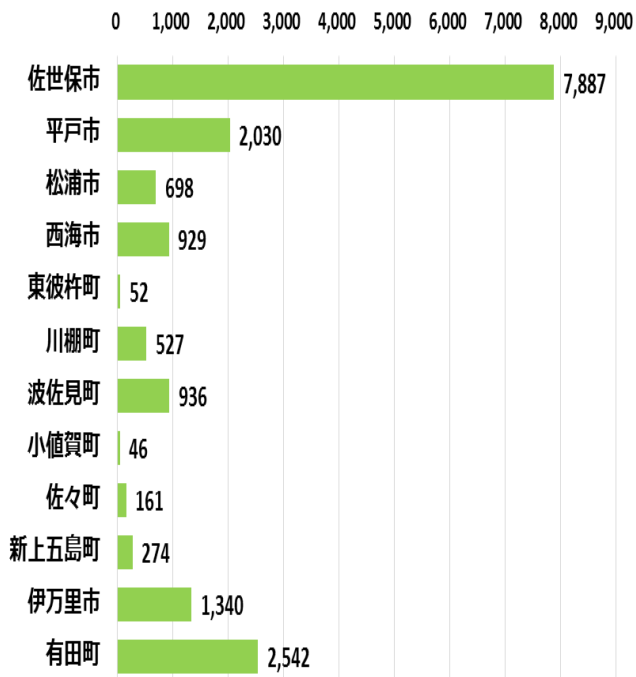
〔図表 11-1 圏域への観光客数〕

《平成27年 観光客数割合(延数)》



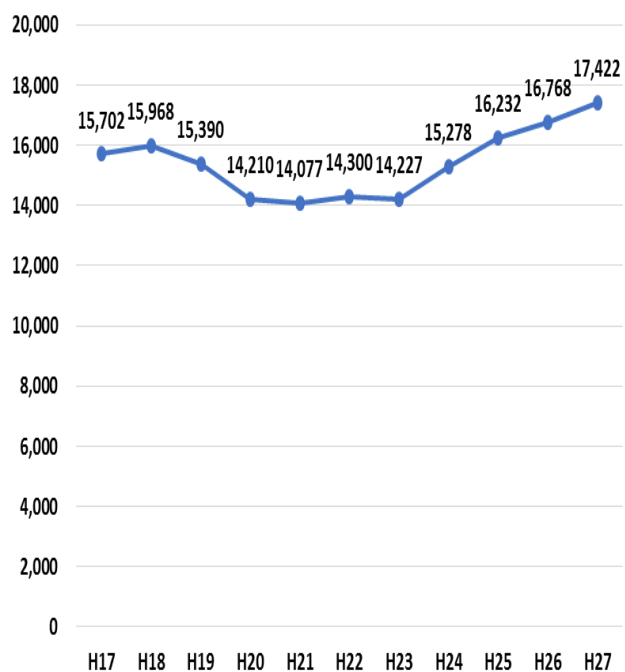
《平成27年 観光客数(延数)》

(単位:千人)



《圏域の観光客数推移(延数)》

(単位:千人)



(出典) 「平成 27 年長崎県観光統計」、「平成 27 年佐賀県観光客動態調査」

4. 圏域の都市機能の集積状況

(1)医療

圏域全体の病院数は 55 施設、一般診療所は 400 施設、歯科診療所は 243 施設となっており、人口 1 万人あたりの医師数は川棚町が最も多く、次に佐世保市となっています。

[図表 12-1 圏域の医療機関数]

《医療機関数》 (単位:施設)

市町名	病院			一般診療所	歯科診療所	人口1万人あたり 医師数 (人/万人)
	一般	精神	合計			
佐世保市	20	6	26	225	138	25.9
平戸市	6	1	7	18	13	15.7
松浦市	3	0	3	13	9	10.3
西海市	1	1	2	25	11	12.5
東彼杵町	1	0	1	7	4	16.9
川棚町	1	0	1	13	6	26.3
波佐見町	1	1	2	12	7	15.4
小値賀町	0	0	0	1	1	7.8
佐々町	0	1	1	12	7	11.7
新上五島町	1	0	1	14	11	14.7
伊万里市	8	2	10	40	27	15.9
有田町	1	0	1	20	9	18.4
合計	43	12	55	400	243	20.9

《主要指定病院》

項目	市町名	病院名
三次救急医療体制	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
二次救急医療体制	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院、地方独立行政法人 北松中央病院、社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院、医療法人光省会 福田外科病院、国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院、医療法人アリス会 京町内科病院、医療法人謙人会 三川内病院、医療法人星心会 久保内科病院、特定医療法人謙博会 千住病院、医療法人篤信会 杏林病院、医療法人わかば会 横町浜野病院
	平戸市	国民健康保険 平戸市民病院、医療法人青洲会 青洲会病院、平戸市立 生月病院、医療法人医理会 神添病院
	松浦市	医療法人社団社志会 押淵医院
	川棚町	独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター
	小値賀町	小値賀町国民健康保険診療所
	新上五島町	長崎県上五島病院
	伊万里市	医療法人社団再整会 口石病院、医療法人幸福会 前田病院、医療法人二期会 小島病院、医療法人朋友会 山口病院、医療法人精仁会 隅田病院、社会医療法人謙仁会 山元記念病院、医療法人光仁会 西田病院、独立行政法人地域医療機能推進機構 伊万里松浦病院
	有田町	伊万里有田共立病院
初期救急医療体制 (休日夜間急患センター)	佐世保市	佐世保市立急病診療所
	伊万里市	伊万里休日・夜間急患医療センター
地域周産期母子医療センター	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
災害拠点病院	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院、地方独立行政法人 北松中央病院
	新上五島町	長崎県上五島病院
	有田町	伊万里有田共立病院
長崎DMAT指定病院	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院、地方独立行政法人 北松中央病院
	川棚町	独立行政法人国立病院機構 長崎川棚医療センター
	新上五島町	長崎県上五島病院
がん診療連携拠点病院	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
がん診療連携推進病院	佐世保市	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
高次脳卒中センター	佐世保市	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
地域脳卒中センター	佐世保市	独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院、社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
認知症疾患医療センター	佐世保市	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院

(出典) 厚生労働省「平成 28 年度医療施設調査」、「平成 28 年医師・歯科医師・薬剤師調査」、「平成 27 年国勢調査」

(2)高等教育機関（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校）

圏域における高等教育機関は14施設であり、学生総数（専修学校を除く）は約5,600名となっています。

〔図表 13-1 圏域の高等教育機関〕

分類	所在市町	名称	学部・学科	学生数	備考		
大学	公立	佐世保市	長崎県立大学 佐世保校	経営学部	経営学科	437	1,934 平成30年 3月31日 現在
					国際経営学科	192	
				地域創造学部	公共政策学科	372	
					実践経済学科	403	
				経済学部	経済学科	190	
					地域政策学科	170	
	私立	佐世保市	長崎国際大学	人間社会学部	国際観光学科	949	2,275 平成30年 5月1日 現在
					社会福祉学科	251	
				健康管理学部	健康栄養学科	336	
	国立	有田町	佐賀大学	薬学部	薬学科	739	27 大学聞き取り調査
芸術地域 デザイン学部				芸術地域デザイン学科 (有田セラミック分野)			
短期大学	私立	佐世保市	長崎短期大学	—	食物科	110	501 平成30年 5月1日 現在
					保育学科	240	
					国際コミュニケーション学科	134	
					専攻科	17	
高等専門学校	国立	佐世保市	佐世保工業高等 専門学校	—	機械工学科	214	851 平成30年 5月1日 現在
					電気電子工学科	209	
					電子制御工学科	214	
					物質工学科	214	
専修学校	【佐世保市】佐世保市立看護専門学校、佐世保市医師会看護専門学校、九州文化学園歯科衛生士学院、こころ医療福祉専門学校佐世保校、九州文化学園調理師専門学校、佐世保美容専門学校、専門学校させほ公務員オプビジネス、専門学校公務員ゼミナール佐世保校 【伊万里市】伊万里看護学校			9校	長崎県 佐賀県 HP		

(出典) 「各大学等HP」、「長崎県・佐賀県HP」

(3)研究機関

圏域内には農産・水産業に関する試験研究施設が多く立地しています。

〔図表 14-1 圏域の研究機関数〕

分類	所在地	施設名
水産	佐世保市	長崎県栽培漁業センター(県)
		佐世保市水産センター
		佐世保市宇久栽培漁業センター
	小値賀町	小値賀町アワビ種苗センター、小値賀町あわび館(水産加工室)
新上五島町	新上五島町アワビ中間育成施設	
農業	佐世保市	佐世保市食肉衛生検査所
	平戸市	長崎県肉用牛改良センター(県)
	西海市	西海市江島農産加工センター
		西海市西彼農村環境改善センター
	川棚町	長崎県川棚食肉衛生検査所(県)
	東彼杵町	長崎県農林技術開発センター茶業研究室(県)
	小値賀町	小値賀町担い手公社、小値賀町農産物加施設
新上五島町	新上五島町家畜診療所	
窯業	波佐見町	長崎県窯業技術センター(県)
	有田町	佐賀県窯業技術センター(県)
環境	西海市	西海市炭化センター
	伊万里市	佐賀大学海洋エネルギー研究センター

(出典) 公的試験研究施設(各自治体聞き取り調査)

(4)公共交通等

①主な公共交通機関

種類	事業者名
バス	【佐世保市】 西肥バス、佐世保市営バス、させぼバス、宇久観光バス 【平戸市】 平戸ふれあいバス、生月バス、大島ふれあいバス、YOKARO 【松浦市】 西肥バス、のりあいバス、鷹島タクシー、昭和バス 【西海市】 さいかい交通 【東彼杵町】 東彼杵町町営バス 【小値賀町】 小値賀交通 【伊万里市】 西肥バス、昭和バス、いまりんバス 【有田町】 有田町コミュニティバス
鉄道	九州旅客鉄道(JR)、松浦鉄道(MR)

(出典) 公的生活移動手段(各自治体聞き取り調査)

②主な公共交通機関利用者数

公共交通機関	利用者数	出典年度
JR(佐世保駅のみ)	1,436,254人	平成29年度
MR(松浦鉄道全体)	1,680,669人	平成29年度
佐世保市営バス(させぼバス含む)	8,825,689人	平成29年度
西肥バス	8,599,736人	平成29年度

(出典) 佐世保市公共交通機関利用者実績

③航路

圏域内市町間航路	運航主体	1日便数(往復)
佐世保 ~ 上五島航路	九州商船株式会社	10
	崎戸商船株式会社	4
	株式会社五島産業汽船	6
佐世保 ~ 大島・池島航路	西海沿岸商船株式会社	25
佐世保 ~ 横瀬・川内航路	瀬川汽船株式会社	22
佐世保 ~ 相浦 ~ 津吉航路	津吉商船株式会社	8
佐世保(神浦・寺島) ~ 柳航路	佐世保市	6

(出典) 各運航主体HP、佐世保市公共交通機関利用者実績

(5)主な工業団地

種類	市町名	施設名
主な工業団地	佐世保市	ウエストテクノ佐世保、佐世保相浦工業団地、佐世保テクノパーク、佐世保ニューテクノパーク、御橋工業団地
	平戸市	平戸市工業団地、平戸下中野工業団地
	松浦市	松浦市東部工業団地、堂山地区工業団地、平野工業団地、今福工業団地
	西海市	パールテクノ西海
	波佐見町	波佐見テクノパーク、波佐見町営工業団地
	佐々町	小浦工業団地、神田工業団地
	東彼杵町	東そのぎグリーンテクノパーク、赤木工業団地
	伊万里市	伊万里団地、久原工業団地、里工業団地、七ツ島工業団地、長浜工業団地
	有田町	有田工業団地、有田南部工業団地、南原工業団地、前原工業団地

(出典)工業団地:「長崎県産業振興財団 HP」

(6)道の駅

種類	市町名	駅名	路線名
道の駅	佐世保市	させぼつくす99	国道 497 号
	平戸市	生月大橋、昆虫の里たびら	主要地方道平戸生月線、国道 204 号
	松浦市	松浦海のふるさと館、鷹ら島	国道 204 号、県道鷹島肥前線
	西海市	西海みかんだーム	主要地方道西彼太田和港線
	東彼杵町	彼杵の荘	国道 205 号
	伊万里市	伊万里ふるさと村	国道 202 号

(出典)国土交通省道路局(休憩・情報発信・地域連携機能)

(7)地域資源

①主な地域資源等

分野	地域資源
自然	<p>【佐世保市】西海国立公園九十九島、弓張岳、烏帽子岳、虚空蔵岳 【平戸市】川内峠、塩俵の断崖、中瀬草原、大賀断崖 【松浦市】不老山総合公園、土谷棚田、イロハ島、椿の群生林、龍王の滝 【西海市】七ツ釜鍾乳洞、つがね落としの滝、虚空蔵山 【佐々町】古川岳遊歩道・展望台 【川棚町】川棚町大崎自然公園、虚空蔵山、日向の棚田 【波佐見町】鬼木棚田 【東彼杵町】多良岳県立自然公園、集団茶園 【小値賀町】赤浜海岸、ポットホール、野崎島ワイルドパーク、姫の松原 【新上五島町】西海国立公園(若松瀬戸)、蛤浜・高井旅海水浴場、奈良尾のあこう樹 【伊万里市】伊万里湾カブトガニ繁殖地、東山代の明星桜、玄海国定公園 【有田町】岳の棚田、竜門峡</p>
歴史文化	<p>【佐世保市】黒島の集落、黒島天主堂、福井洞窟、泉福寺洞窟ほか洞窟遺跡等、針尾送信所ほか近代化遺産群、平戸八景、五島神楽(宇久) 【平戸市】春日集落、安満岳、中江ノ島、田平天主堂、平戸神楽 【松浦市】鷹島神崎遺跡、松浦党梶谷城跡 【西海市】中浦ジュリアン記念公園、音浴博物館、ホゲット石鍋製作遺跡 【佐々町】市瀬窯跡、狸山支石墓群 【川棚町】片島魚雷発射試験場跡、特攻殉国の碑、木場浮立・百津浮立 【波佐見町】畑ノ原窯跡・中尾上登窯跡・智恵治窯跡、皿山人形浄瑠璃 【東彼杵町】千綿人形浄瑠璃、坂本浮立、ひさご塚古墳 【小値賀町】旧野首教会、沖ノ神嶋神社神官屋敷 【新上五島町】頭ヶ島の集落、崎浦の五島石集落、青砂ヶ浦天主堂、五島神楽(上五島・有川) 【伊万里市】伊万里トントントン祭り、脇野の大念仏、府招の浮立、大川内鍋島窯跡 【有田町】有田内山重要伝統的建造物群保存地区、泉山磁石場跡、有田大イチョウ、天狗谷窯跡、有田異人館</p>
観光	<p>【佐世保市】ハウステンボス、九十九島パールシーリゾート、九十九島動植物園、山暖簾 【平戸市】平戸城、根獅子海水浴場、生月サンセットウェイ 【松浦市】つばき荘、ほんなもん体験 【西海市】長崎バイオパーク、伊佐ノ浦公園、北緯33度線展望台 【佐々町】皿山公園(窯体験施設) 【川棚町】大崎くじゃく園、大崎海水浴場、川棚大崎温泉しおさいの湯 【波佐見町】陶芸の館、西の原、波佐見温泉、陶芸の里中尾山 【東彼杵町】千綿溪谷、JR千綿駅、龍頭泉いこいの広場、歴史公園彼杵の荘 【小値賀町】あわび館、野崎島ビジターセンター、野崎島自然学塾村 【新上五島町】龍観山公園、鯨見山展望所、矢堅目公園、龍馬ゆかりの広場 【伊万里市】伊万里鍋島焼会館、伊万里・有田焼伝統産業会館、伊万里温泉白磁乃湯 【有田町】有田ポーセリンパーク</p>
伝統工芸	<p>【佐世保市】三川内焼、佐世保独楽 【波佐見町】波佐見焼 【小値賀町】小値賀焼 【伊万里市】伊万里・鍋島焼 【有田町】有田焼</p>

分野	地域資源
特産物	<p>【佐世保市】世知原茶、九十九島かき、九十九島いりこ、九十九島とらふぐ、西海みかん、長崎和牛</p> <p>【平戸市】平戸牛、いか、あご</p> <p>【松浦市】旬あじ、旬さば、鷹ふく、松浦本まぐろ、福島くるまえび、アールスメロン、キンショーメロン、御厨ぶどう</p> <p>【西海市】ゆでぼし大根、あらかぶ、うず潮カキ、ゑべす蛸、西海ポーク、みかん、大島トマト</p> <p>【佐々町】いちご、お茶、シロウオ</p> <p>【川棚町】小串トマト、長崎和牛、川棚なまこ、ひなた米/棚田米</p> <p>【東彼杵町】そのぎ茶、いちご、アスパラガス、みかん、くじら、なまこ</p> <p>【小値賀町】値賀咲/長崎イサキ、実えんどう、落花生</p> <p>【新上五島町】五島手延うどん、椿油、かんころもち、焼酎、海塩</p> <p>【伊万里市】伊万里牛、伊万里梨・ぶどう、車エビ</p> <p>【有田町】キンカン、アスパラガス、棚田米、酒、焼酎</p>

(出典) 各自治体への聞き取り調査

②主な文化施設等

市町名	施設名	利用者数(人)	出典年度
佐世保市	アルカス SASEBO	463,631	平成 29 年度
	市民文化ホール	48,986	平成 29 年度
	木場浮立資料館兼伝習研修所	505	平成 29 年度
	博物館島瀬美術センター	92,285	平成 29 年度
	佐世保史料館(セイルタワー)	67,674	平成 29 年度
	浦頭引揚記念資料館	11,629	平成 29 年度
	うつわ歴史館	4,630	平成 29 年度
	小佐々郷土館	271	平成 29 年度
	世知原炭鉱資料館	964	平成 29 年度
	宇久島資料館	224	平成 29 年度
	少年科学館	62,326	平成 29 年度
	江迎地区文化会館インフィニタス	19,085	平成 29 年度
三川内焼伝統産業会館	19,269	平成 29 年度	
平戸市	松浦史料博物館	25,129	平成 29 年(暦年)
	平戸市生月町博物館・島の館	17,928	平成 29 年(暦年)
	平戸オランダ商館	31,719	平成 29 年(暦年)
	切支丹資料館	3,857	平成 29 年(暦年)
松浦市	福島歴史民俗資料館	415	平成 29 年度
	松浦市立埋蔵文化財センター	3,515	平成 29 年度
西海市	西海市崎戸歴史民俗資料館	4,200	平成 29 年度
川棚町	川棚町郷土資料館	300	平成 29 年度
波佐見町	農民具資料館	1,000	平成 29 年度
東彼杵町	東彼杵町歴史民俗資料館	11,318	平成 29 年度

市町名	施設名	利用者数(人)	出典年度
小値賀町	小値賀町歴史民俗資料館	1,696	平成 29 年度
新上五島町	鯨賓館ミュージアム・ホール	17,271	平成 29 年度
伊万里市	歴史民族資料館	2,160	平成 29 年度
	陶器商家資料館	2,786	平成 29 年度
	伊万里・鍋島ギャラリー	2,137	平成 29 年度
	海のシルクロード館	3,618	平成 29 年度
	伊万里・有田焼伝統産業会館	59,293	平成 29 年度
有田町	有田町歴史民俗資料館	3,335	平成 29 年度
	有田焼参考館	3,335	平成 29 年度
	有田陶磁美術館	3,846	平成 29 年度
	有田異人館	4,489	平成 29 年度
	焱の博記念堂	81,471	平成 29 年度

(出典) 公的文化施設・博物館等(各自治体聞き取り調査)

Ⅲ 西九州させば広域都市圏の将来像

1. 目指すべき将来の姿

圏域を取り巻く環境や今後の社会情勢等を踏まえ、圏域の将来像を

「多様性と創造・挑戦による豊かで実りある未来社会の実現」(修正検討)

※都市圏ビジョン懇談会において、委員から抽象的なものではなく、短いキーワードで自然や歴史等を踏まえたものや、ターゲットを明確にして分かりやすい表現にした方が良いといった意見あり。

とし、構成市町の個性を尊重しつつ、圏域全体を俯瞰しながら都市機能や経済を牽引し、住民の皆様の暮らしを支えると同時に、この圏域の豊かで実りある未来と、一体的共生社会を築くため、多様性と創造・挑戦の精神を持ちながら魅力的な圏域の創造を目指します。

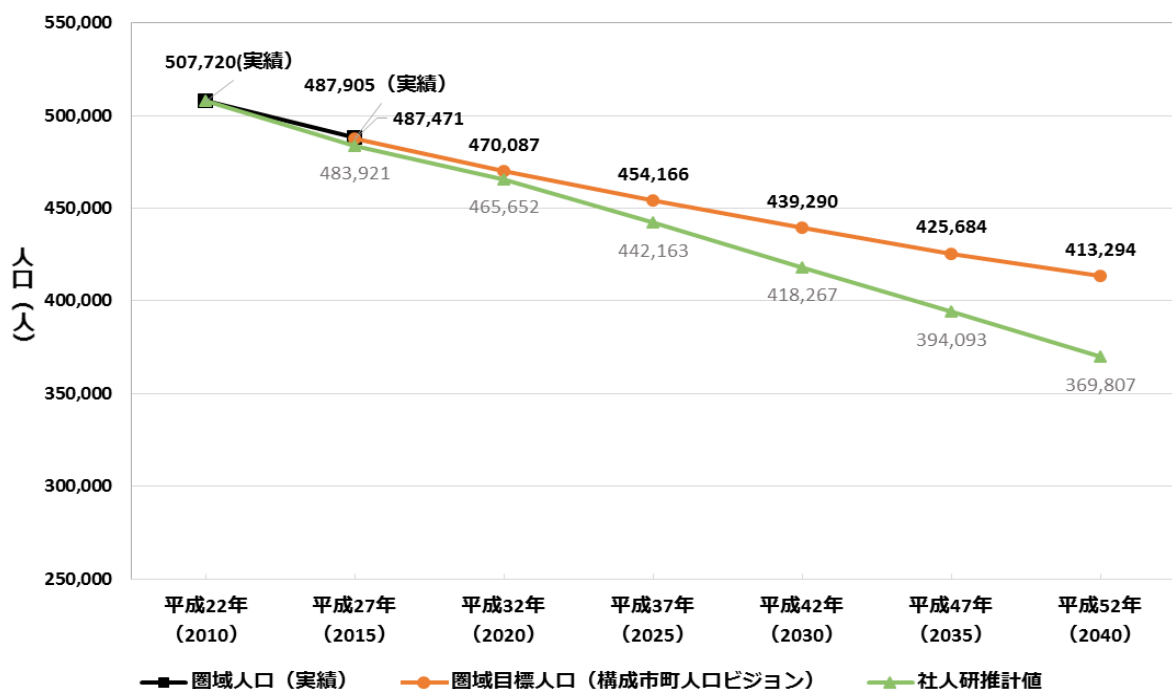
2. 将来の圏域人口の目標

西九州させば広域都市圏の目標人口 2040（平成 52）年 41.3 万人

構成市町が策定している人口ビジョンから圏域の 2040 年（平成 52 年）の目標人口を 41 万 3 千人程度と設定します。

社人研推計値と比較し約 4 万 3 千人多くなっていますが、各市町が策定した総合戦略や、当都市圏ビジョンに位置付けた具体的な取組みを推進し、首都圏等の都市部への転出抑制を図っていくことで目標人口の達成を目指します。

〔図表 16-1 将来の圏域人口目標〕



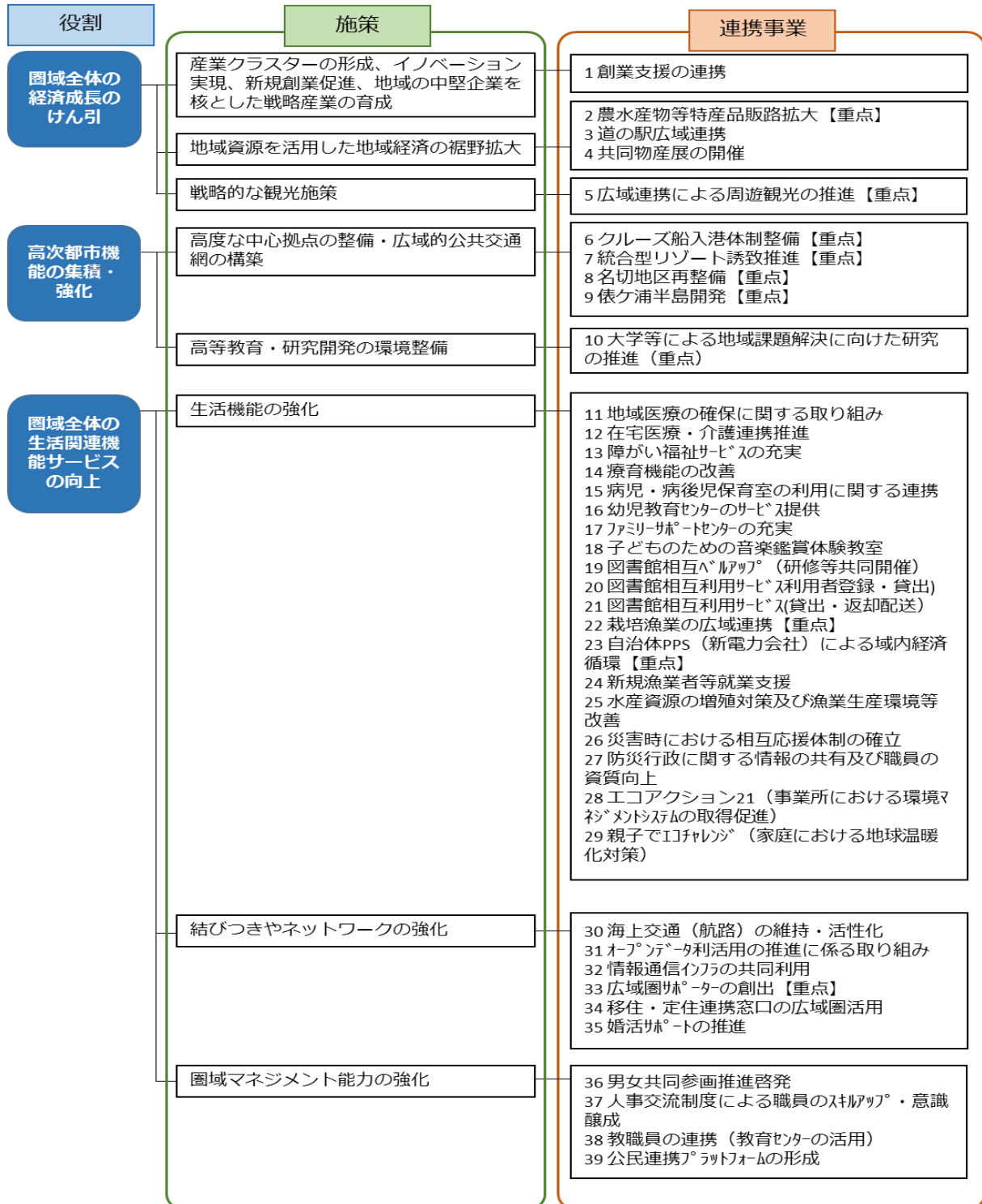
(出典) 「平成 27 年国勢調査」、「構成市町人口ビジョン」
「国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成 30 年 3 月)」、

IV 将来像の実現に向けた具体的取組

都市圏に求められる3つの役割に基づき、以下の施策及び連携事業の展開を図っていき、所要の効果検証（3年目）を行い、施策及び連携事業の見直しを実施することで、効果的な取組みを推進していきます。

また、連携事業の中で、圏域人口のダム機能に対する効果の発現に大きく寄与する事業については、重点事業として位置付けることで優先的に財源を配分し、重点的、継続的に取り組んでいきます。

1 施策体系



2 管理指標・成果指標（KPI）

圏域の状態の中長期的な確認及び本ビジョンの取組の進捗管理や成果を検証するため、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の各役割や施策に関する管理指標、重要業績評価指標（KPI）を次のとおり設定します。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

【役割の管理指標】

指標名	現状値	出典
圏域内総生産額	1兆5875億2千万円	平成26年度長崎県・佐賀県市町 民経済計算

【施策のKPI】

指標名	現状値	目標値 (平成35年度)	出典
新規創業者数	249人/年 (平成29年度)	1,564人/年	産業競争力強化法に基 づく各市町が認定を受 けた創業支援事業計画
農水産物総生産額	25,740百万円/年 (平成26年度)	25,910百万円/年	平成26年度長崎県・佐 賀県市町民経済計算
観光入込客数	14,834千人/年 (平成29年度)	17,068千人	長崎県・佐賀県観光統 計

(2) 高次の都市機能の集積・強化

【役割の管理指標】

指標名	現状値	出典
圏域滞在人口率 (平日・休日)	103%	RESAS (2015年)

【施策のKPI】

指標名	現状値	目標値 (平成35年度)	出典
入港船舶数	89隻 (平成29年度)	395隻	佐世保港国際旅客船拠 点形成計画
事業進捗率	—	100%	佐世保市
大学等との共同研究 等による地域課題の 解決率	—	50%	佐世保市

(3)圏域全体の生活関連機能サービスの向上

【役割の管理指標】

指標名	現状値	出典
圏域人口の社会動態 (転入者数－転出者数)	－4,501 人/年	2015 年国勢調査

【施策のKPI】

指標名	現状値	目標値 (平成 35 年度)	出典
佐世保市以外の住民 の病児保育室登録者 数	44 人/年 (平成 29 年度)	66 人/年	各市町病児保育室
図書館の貸出利用者 数	474,915 人/年 (平成 29 年度)	480,000 人/年	各市町図書館貸出統計
計画種苗に対する供 給率	85%	85%	各市町からの要望数量 及び供給数量
移住者数	351 人/年 (平成 29 年度)	371 人/年	構成市町実績
交流職員等の人数	—	4 人/年	佐世保市

2 推進する具体的取組

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

クルーズ船客をはじめとした圏域外からの観光客を周遊させ、圏域内経済の好循環を目指します。また、造船等の製造業や農水産業等を強化していくことで、都市部への人口流出に歯止めをかけるとともに、圏域外からの人口流入に取り組んでいきます。

〔施策の方向性〕

【商工分野】

- ・圏域内特産品を相互に販売促進する機会、仕組みづくりを行っていきます。
- ・若年層をはじめ、就職を希望する世代に対して、県と一体となって地元定着に向けた情報発信を行うとともに、地場企業の認知度向上、圏域の魅力周知を目的とした「業界セミナー」を開催するなど、就職、定住の地としての圏域をPRすることで市内就職を促進します。
- ・創業支援では、「創業前」、「創業準備」、「創業後」の各段階において支援を行うようにしているが、創業後の支援についても積極的に支援を行えるように関係支援機関と連携して支援体制の充実を図ります。
- ・連携市町の創業希望者に対しても、産業支援センターにて来所誘致型で創業相談が受けられるほか、セミナーやイベントについても周知・広報を行い、積極的に参加を促します。
- ・中小企業・労働福祉に関する業務を集約することによるスケールメリットを生かしたサービス充実・展開を行っていきます。
- ・就職に伴う若年層の流出を抑制することなどを目的として、各市町で取り組む企業誘致を連携して取り組むことにより、圏域内での雇用促進、若者の定着に結び付けていきます。
- ・造船業における共通課題の解決、効率性及び生産性を高めていきます。

〔施策〕

(1) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業を核とした戦略産業の育成

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○○○○○○○

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

No.	1	事業名	創業支援の連携									
事業概要	佐世保市産業支援センター内に設置しているインキュベーション（創業支援施設）への圏域内関係自治体内の創業希望者も入居の対象とするなど、圏域内での広域展開（拡充）を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●		●	●	●	●	●		●	●	8
連携による効果	創業者の増加による経済活性化											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	佐世保市産業支援センター事業の広域展開										
	関係市町	各種支援機関（商工会や金融機関等）から創業希望者へのインキュベーション施設の情報提供										

〔施策の方向性〕

【商工分野】

- ・進出企業と圏域内企業との取引拡大を図ることにより、地域経済への波及効果を求めていきます。
- ・圏域内特産品を相互に販売促進する機会、仕組みづくりを行っていきます。
- ・海外ビジネス、異業種交流分野等での研修・セミナー開催を通じて、販路拡大はもとより海外企業との連携など新事業・新分野の展開に向けた機運促進を行っていきます。

【農水分野】

- ・地域の農水産物の消費拡大促進のため、圏域で連携した販促活動により多種多様な商品が揃うことで集客力・認知度・農水産物販売力の向上につなげていきます。

〔施策〕

(2) 資源活用・地域経済の裾野拡大

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○○○○○○○○○

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

No.	2	事業名	【★】農水産物等特産品販路拡大									
事業概要	国内外での農水産物消費拡大連携イベント開催や、情報発信拠点（サイト・動画）設置による多様な情報を発信する。 消費地バイヤー、飲食店オーナー等への産地ツアー開催を通じた商談機会を創設する。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●			●			●	●	●		5
連携による効果	産地ブランドの認知度向上、情報の拡散、新市場開拓、商談機会の創設による販路拡大											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	各種事務手続き、関係機関・生産者との調整、事業検証等を行う										
	関係市町	関係機関・生産者との調整、事業立会、事業検証等を行う										

No.	3	事業名	道の駅広域連携									
事業概要	圏域内の道の駅が連携し共通パンフレット等による観光情報等の情報発信することで、道の駅の認知度の向上と観光客をはじめとする来訪者の回遊性の向上を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
				●						●		2
連携による効果	道の駅来訪者の回遊性向上による道の駅認知度、集客性の向上											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	チラシまたはマップ作成にかかる各種事務手続きを行う										
	関係市町	掲載情報の提供等を行う。										

No.	4	事業名	共同物産展の開催									
事業概要	佐世保市の中心市街地で開催されている既存イベントを活用して、連携市町からの出展による共同物産展を開催し、圏域内での各市町の特産品の認知度向上と販路拡大に向けた支援を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	特産品の認知度向上による販路拡大											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	物産展開催に向けた既存イベントとの調整を行う										
	関係市町	出品内容の調整、ブース運営等について、必要に応じて支援を行う。										

〔施策の方向性〕

【観光分野】

- ・圏域内観光資源を有機的に結び付け、域内交流人口の拡大及び経済活動活性化を検討していきます。
- ・共通するコンセプトを持った自治体と観光資源を共有し、共同でマーケティング・プロモーションを検討していきます。
- ・自治体が所管する観光施設は各々が適正に管理することが最適だが、自然保護や自然教育というソフト面での視点によって、各施設の魅力向上に繋げる連携を検討していきます。

【国際分野】

- ・市民の国際理解促進事業においては、広域的な観光推進に貢献できる人的体制の整備や、国際人材育成関係のセミナー等の実施募集、基地内大学の募集広報地域の拡大等、圏域で取り組めるよう検討していきます。
- ・海外都市連携（ビジネス連携）においては、圏域内の企業を取り込むことで、連携先の海外都市の企業に対してより精度の高いビジネスマッチング提案を検討していきます。

〔施策〕

(3) 戦略的な観光施策

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○○○○○○○

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

No.	5	事業名	【★】 広域連携による周遊観光の推進									
事業概要	科学的なアプローチと専門人材投入による現状分析を行い、ターゲットを明確にしたインバウンドセールスを行うとともに、日本版 DMO である佐世保観光コンベンション協会の基盤整備と機能を強化し、圏域内への周遊観光を促進する。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	多様な周遊観光の創出、圏域内観光消費額の増加											
事業費見込額 (千円)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	事業構築ならびに事業実施における主体的運営										
	関係市町	事業構築ならびに事業実施における共同運営										

(2) 高次の都市機能の集積・強化

経済けん引や生活機能の充実を図る上で必要となる拠点的な施設を整備します。また、圏域の中心的交流部となる名切地区や、代表的な景勝地の整備、救急医療体制の充実等により、中心市としての都市機能を向上させます。

〔施策の方向性〕

【拠点・ネットワーク分野】

- ・ゲートウェイ機能強化を図り、拠点施設（子ども遊び場、港湾施設、拠点公園）の整備を進めていきます。
- ・地方型 I R 事業として、西九州北部地域、ひいては九州全域が一丸となるような I R を実現し、地域経済への波及効果拡大を目指していきます。
- ・佐世保市域において中心拠点の都市機能を維持し、将来のまちのあるべき姿の調査研究や広域的な調整に取り組みながら、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指し、連携中枢都市として相応しい高次都市機能の集積・強化を図りつつ、圏域全体との連携を可能とする交通ネットワークの強化を図っていきます。

〔施策〕

(1) 高度な中心拠点等の整備・広域的公共交通網の構築

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○○○○○○○○○

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

No.	6	事業名	【★】クルーズ船入港体制整備									
事業概要	官民が連携し、ゲートウェイ機能を有した国際クルーズ拠点形成による観光都市機能の強化を図り、観光客の増加、地域経済の活性化を目指します。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	国際クルーズ拠点港形成による、国際観光の活性化と観光都市機能の強化（クルーズ客船による観光客の増加、観光業をはじめとする地域経済の活性化）											
事業費見込額（千円）	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備を推進する。										
	関係市町	中心市の取組みに対して必要な協力を行う。										

No.	7	事業名	【★】 統合型リゾート誘致推進									
事業概要	長崎県と連携し導入申請に向けた実施指針の策定や、国などの関係機関に働きかけ、I R関連法の早期実現と長崎・佐世保のポジションの向上を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	観光産業、製造業、金融等の関連産業の集積や、ビジネス核となることによる地域経済成長											
事業費見込額 (千円)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備を推進する。										
	関係市町	中心市の取組みに対して必要な協力を行う。										

No.	8	事業名	【★】 名切地区再整備									
事業概要	名切地区の現スポーツ広場において、子育て世代のニーズが高い「屋内あそび場」の導入をはじめ、中心市街地の賑わいの創出や、多様な世帯の交流を育む土地利用を行うとともに、旧児童文化館一帯の斜面地について、自然環境や起伏を活かした子どもも大人も楽しめる土地利用を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	憩いと交流の拠点づくり、中心市街地の賑わいの創出や多様な世帯の交流											
事業費見込額 (千円)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備を推進する。										
	関係市町	中心市の取組みに対して必要な協力を行う。										

No.	9	事業名	【★】 俵ヶ浦半島開発									
事業概要	つくも苑跡地を活用し、九十九島等の自然景観を眺望できる風致公園として整備を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	観光公園を整備し、クルーズ船観光客をはじめ多くの人を呼び込むことによる南九十九島観光の周遊性向上。											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備を推進する。										
	関係市町	中心市の取組みに対して必要な協力を行う。										

〔施策の方向性〕

【マネジメント分野】

- ・「九州西部地域大学・短期大学産学官連携プラットフォーム」との連携による共同研究、地域連携、地域貢献等を推進し、圏域内の地域課題解決を図っていきます。

〔施策〕

(2) 高等教育機関との地域連携

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○○○○○○○

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

No.	10	事業名	【★】 大学等による地域課題解決に向けた研究の推進									
事業概要	大学連携の広域展開を図るため、連携市町との定期的な会議開催による情報共有や、九州西部地域大学プラットフォームとの共同研究を実施する。（圏域全体の課題、連携市町の個別課題）											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	大学等との連携による地域課題解決機能の向上											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	関係市町との連絡会議開催、大学 PF との窓口、各種事業に対する協力・支援、共同研究の実施（圏域・本市の課題）										
	関係市町	上記の会議出席、各種事業に対する協力・支援、共同研究の実施（圏域・各市町の課題）										

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

人事交流・研修の共同開催等による人材育成、図書館等の相互利用による住民サービスの向上、また、行政事務の集約等により、圏域全体の行政業務の効率化、安定的行政運営を図っていきます。

[施策の方向性]

【医療・福祉分野】

・「医療提供体制の充実」や「在宅における医療・介護分野の一層の連携推進」に向け、県の役割や本市の役割を考慮し、実施することが適当と思われる事業について広域で取り組んでいきます。

・障がい者に関わる「地域での生活支援」や「社会参加・就労支援」の理解促進、啓発事業について、研修等により広域的に実施していきます。

【子育て分野】

・県の事業(保健所等)と重複するものは、従来どおりの対応が適当である等、事業内容によって広域化の可能性は異なると考えますが、「療育環境改善」、「ファミリーサポート」、「病児・病後児保育室の利用」、「幼児教育の充実」等、自治体間における施設・機能の相互利用等を含め検討を進めていきます。

【教育・文化分野】

・共通する文化財に関する情報発信や文化財事務に関する共通課題の解決について検討を進めていきます。

・各学校が地域特性(地域・子どもの実態)に応じて学校経営を行うことが最適です。ただし、教職員が共通の研修を受講することにより情報共有や指導技術等を錬磨することができ、教職員の資質向上につなげていきます。

・圏域の図書館相互利用により利用者の利便性及び文化水準の向上につなげていきます。

・広域住民の文化創造活動および地域活性化の拠点として設置されたアルカス SASEBO の運営においては、その設置目的を達成し、持続可能な運営(経営)を実現するため、事業対象の広域化に努めていきます。

【農水分野】

・海域の資源回復が必要であるため、海域全体での栽培漁業の推進等、水産資源の増殖を図っていきます。

・新規担い手となる人材の確保及び技術研修・着業支援、着業後の離職防止等を圏域全体で図り、漁業者の減少に歯止めをかけていきます。

・漁場環境の悪化は海域全体の現象であるため、広範囲での対策が必要であり、現状分析・対策の研究・有効手段の共有等を図り、海域全体の漁場環境の改善・回復を図っていきます。

【地域振興分野】

・自治体 PPS 等、公共領域に係る地域振興の財源と仕組みや、資金域内循環のあり方を検討し、圏域内における地域振興の充実、域外への資金流出の抑制を図ります。

【防災分野】

・大規模災害時の応急対応は自治体単独では困難になることから、他自治体と協定締結等により普段から支援体制等を構築し連携を図っていきます。

・自主防災組織の結成促進や組織の活性化、地域住民への防災意識の高揚などは各自治体がそれぞれ行うべきことですが、平成 29 年度から市で実施している防災リーダー養成講習会等を広域で検討していきます。

【環境分野】

- ・本市のごみ処理施設及びし尿処理施設における処理能力と各市町におけるごみや、し尿の発生量の動向に基づき、中長期的な広域処理の可能性について検討していきます。
- ・環境保全活動の推進において、圏域内自治体が連携しながら環境啓発イベントや啓発広報等の事業実施に向け検討していきます。

〔施策〕

(1) 生活機能の強化

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○○○○○○○○○

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

（地域医療）

No.	11	事業名	地域医療の確保に関する取組み									
事業概要	初期から二次救急医療体制を守るための地域課題を抽出して検討を行い、市民への普及啓発も併せ地域医療を守るための取組みを行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●				●	●				5
連携による効果	救急医療体制の維持による地域医療の確保											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	二次救急医療体制を維持するための各種事業の調整を行う										
	関係市町	中心市と連携し、必要に応じて事業協力を行う										

(介護)

No.	12	事業名	在宅医療・介護連携推進										
事業概要		圏域内の多職種が連携し、情報共有シートの共通化や、圏域内で統一した研修等、在宅医をサポートするための取り組みにより、圏域全体で支える仕組みづくりに取り組む。											
関係市町構成数		平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●					●		●	●	6
連携による効果		利用者情報共有シートやマニュアルの共通化や各市町の作成コスト削減及び関係事業者の連携推進											
事業費見込額 (千円)		2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等													
役割分担		佐世保市	研修会の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
		関係市町	中心市と連携し、研修会の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

(福祉)

No.	13	事業名	障がい福祉サービスの充実										
事業概要		障がい福祉サービス利用者は、広域の事業所を利用していることから、圏域の事業所の質の充実を図るため、サービス提供事業所や福祉事務所向けの研修会（制度周知・事例研究等）等を実施する。											
関係市町構成数		平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●					●				4
連携による効果		圏域全体の事業所の質の底上げや相互協力、支援事例の情報共有化											
事業費見込額 (千円)		2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等													
役割分担		佐世保市	研修会の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
		関係市町	中心市と連携し、研修会の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

No.	14	事業名	療育機能の改善									
事業概要	療育に関わる問題解決のために、子ども発達センター医師及び各医療専門職が、各種学習会などを開催し、積極的に同センターのスキルや能力の提供を広域的に行うことで、市外療育関係者のスキル向上を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●				●	●				5
連携による効果	療育に係るスキル、能力等の提供による圏域内療育環境改善											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	医師や医療専門職が持つ療育スキルの提供や助言等能力の提供										
	関係市町	中心市が企画・実施する各種学習会への案内及び参加等										

No.	15	事業名	病児・病後児保育室の利用に関する連携									
事業概要	連携自治体居住者が圏域にある病児・病後児保育施設の相互利用を可能とし、居住地や勤務先に近い施設を利用できるなど、利用者の需要に合わせたサービスの提供を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●		●		●	●	9
連携による効果	住民サービスの圏域への広がりによる利便性向上											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	病児保育事業の提供、利用料減免等に係る必要な事務調整を行う										
	関係市町	中心市と連携し、病後児保育事業の提供、利用料減免等に係る必要な事務調整を行う										

No.	16	事業名	幼児教育センターのサービス提供									
事業概要	圏域内における乳幼児教育・保育の質の向上を目指した職員向けの研修・講演会、市民向けの講演会等の合同開催を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
			●	●	●	●	●	●		●		7
連携による効果	圏域内における乳幼児教育、保育の質の向上及び子育て支援の充実											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	研修会の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、研修会の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

No.	17	事業名	ファミリー・サポート・センター事業									
事業概要	圏域内のファミリー・サポート・センターにおいて、会員の資質向上のため、会員養成講座や研修会の相互受講、また、事業未実施の自治体に対する立ち上げ支援による圏域での事業普及を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●		●	●		●				6
連携による効果	圏域内の事業の充実、圏域への広がりによる事業普及											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等	(名称)											
役割分担	佐世保市	会員養成講座等の相互受講及び、事業立ち上げ支援を行う										
	関係市町	中心市と連携し、会員養成講座等の相互受講及び、事業立ち上げ検討を行う										

(教育・文化)

No.	18	事業名	子どものための音楽鑑賞体験教室									
事業概要	小学校5年生全員を対象とした、プロのオーケストラ鑑賞体験「子どものための音楽鑑賞体験教室」を圏域へ拡大し、鑑賞機会の充実を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
								●				1
連携による効果	圏域児童の質の高い芸術文化体験機会の創出による人材育成の広がり											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	事業企画・実施を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、事業企画の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

No.	19	事業名	図書館相互レベルアップ（研修・講習会の共同開催）									
事業概要	圏域の図書館職員を対象とした研修の共同開催や、図書館利用者を対象とした講習会を開催する。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●				●		●		●		4
連携による効果	職員の技術向上による圏域内図書館サービス水準の向上											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	研修会の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、研修会の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

No.	20	事業名	図書館相互利用サービス（利用者登録・貸出）									
事業概要	圏域内図書館の相互利用（利用者登録・貸出）を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●		●	●	●	●	●				6
連携による効果	住民サービスの圏域への広がりによる図書館利用者の利便性向上											
事業費見込額 （千円）	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	圏域住民の利用者登録及び資料貸出による利用者の利便性向上を図る										
	関係市町	圏域住民の利用者登録及び資料貸出による利用者の利便性向上を図る										

No.	21	事業名	図書館相互利用サービス（貸出・返却の配送サービス）									
事業概要	圏域内の図書館間の貸出・返却資料の配送を行う。 ・行政区域外図書館所蔵の資料の地元図書館への取寄せ・貸出 ・行政区域外図書館窓口で借りた資料の地元図書館での返却											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●		●	●	●	●	●		●	●	8
連携による効果	住民サービスの圏域への広がりによる図書館利用者の利便性向上											
事業費見込額 （千円）	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	貸出・返却サービスの提供による利用者の利便性向上を図る										
	関係市町	貸出・返却サービスの提供による利用者の利便性向上を図る										

(地域振興)

No.	22	事業名	【★】 栽培漁業の広域連携									
事業概要	水産センターの施設拡充を行い、栽培漁業の推進による水産資源の維持・確保のため、関係市町への「余剰種苗の提供」から「計画生産」に移行し、種苗供給の安定化を目指す。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●				●					4
連携による効果	水産資源の生産安定、圏域ブランド水産物の創出、業者の経営向上等											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	関係市町に対する計画生産による種苗の安定供給の実施や、生産技術開発・支援や情報の提供を行う										
	関係市町	中心市からの種苗の計画的な購入や、種苗購入及び情報提供希望者の調整を行う。										

No.	23	事業名	【★】 自治体 PPS（新電力会社）による域内経済循環									
事業概要	新電力会社（第3セクター）を設立し、圏域内の公共施設や民間事業者への電力供給による収益（富）を域内に留めるとともに、収益について、圏域内各市町の課題解決に寄与し、圏域の活性化に繋がる事業の展開に充当する。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●					●	●		6
連携による効果	地域内経済循環、地域還元事業の創出による地域振興											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	新電力会社への出資、新電力会社へのガバナンス、地域還元の仕組づくりを行う										
	関係市町	公共施設の電気契約、収益をもって行う地域還元事業への参画を行う										

No.	24	事業名	新規漁業者等就業支援									
事業概要	新規就漁者等への研修（着業後の技術支援等）や、若年漁業従事者等の交流（親睦、情報交換）、新規就漁者等への情報提供（中古漁船情報等）を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●					●					2
連携による効果	漁業者間の交流による新規就漁者の定着促進											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	研修会の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、研修会の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

No.	25	事業名	水産資源の増殖対策及び漁業生産環境等改善									
事業概要	各市町が実施している栽培漁業（種苗放流）及び漁場環境調査等を共同して実施することで、接続する漁場全体の生産環境改善および漁業者の所得向上を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●				●					4
連携による効果	漁場全体での生産環境の向上及び共同実施による事務効率化											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	主体的に事務手続、日程調整等を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、事務手続、日程調整等に係るとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

(災害対策)

No.	26	事業名	災害時における相互応援体制の確立										
事業概要		自治体が災害により被災し、独自では災害応急対応が困難な場合に、水や食料等の物資の提供、応援職員の派遣、広域における避難所開設などの応援体制により、被災住民への迅速な支援を行う。											
関係市町構成数		平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果		万一の大規模災害発生に備えた相互応援体制の拡充											
事業費見込額 (千円)		2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等													
役割分担		佐世保市	被災自治体からの情報収集及び他自治体への情報提供、被災自治体への支援の実施										
		関係市町	被災自治体から中心市へ情報提供、中心市から情報提供を受けた他自治体による被災自治体への支援の実施										

No.	27	事業名	防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上										
事業概要		防災に係る定期会議開催による情報共有、圏域職員の知識・技能等、資質向上を目的とした研修会や訓練等を企画実施する。											
関係市町構成数		平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果		市町間の防災行政に関する情報共有及び防災担当職員の資質向上											
事業費見込額 (千円)		2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等													
役割分担		佐世保市	職員の資質向上を目的とした研修会や訓練等を企画、実施する										
		関係市町	中心市と連携し、研修会や訓練等の開催に協力する										

(環境)

No.	28	事業名	エコアクション21 (事業所における環境マネジメントシステムの取得促進)									
事業概要	圏域内事業者の環境意識の向上や環境活動につなげるため、事業者向けセミナー開催により、中小企業を対象に国が推奨する環境マネジメントシステム「エコアクション21」の普及に努める。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●							●				2
連携による効果	効率的に環境配慮に率先して取り組む企業育成、事業実施に係るノウハウの蓄積											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	セミナーの企画実施と企業等への周知等を行う										
	関係市町	中心市と連携して、企画実施等に必要な協力を行う										

No.	29	事業名	親子でエコチャレンジ (家庭における地球温暖化対策)									
事業概要	圏域内の小学校や児童クラブと連携した環境意識の啓発事業の実施や、圏域内自治体担当者による環境意識啓発に係る状況取り組みの情報交換、ノウハウ共有を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
				●	●	●		●				4
連携による効果	圏域の環境教育・普及啓発促進											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	事業の企画実施と学校・児童クラブ等への周知等を行う										
	関係市町	中心市と連携して、企画実施等に必要な協力を行う										

[長期検討事業]

事業名	事業概要
社会情勢に即した一般廃棄物処理のあり方に係る検討	各市町における人口動態などによるごみ処理量の変動傾向に基づいて、長期的な取り組みとしてごみ処理の広域化の検討を行う。

〔施策の方向性〕

【公共交通分野】

- ・離島航路対策では、母港平準化及び利便性の高い運行ダイヤを実現するための協議を継続的に関係自治体と行うことについて、連携事業化を検討していきます。
- ・圏域内で情報や方針等の共有を図りながら、公共交通機関（バス、鉄道など）を中心とした利便性の高い交通づくりに向けた検討を進めていきます。
- ・神浦～寺島～柳航路の利便性向上及び効率的な運航に関し検討を進めていきます。

【ICT分野】

- ・圏域内の行政情報を一体的に提供することで、利用者の利便性向上を図っていきます。
- ・システム等の標準化・共同化による事務効率化等を図っていきます。

【インフラ分野】

- ・水道の安定供給や下水の安定処理を持続していくため、県の積極的な関与のもと、各自治体の地勢条件、人口、財政状況等を総合的に勘案し、経営基盤の強化につながる広域連携の形態を検討していきます。
- ・関連性のある景観資源のPRのためには、関連市が一体となり情報発信を行うことを検討していきます。
- ・相互の景観形成や景観資産の保全を図るため、バッファゾーンとなるエリアでの認識共有を検討していきます。

【移住・定住分野】

- ・圏域内各地域の魅力を打ち出し、一体感をもった移住定住施策の検討を進めていきます。

【市民生活分野】

- ・広域化により多くの結婚希望者が出会える場を創設し、婚活イベント等の情報発信を連携することで、成婚者の増が見込まれ、人口減少の抑制に繋げていきます。

〔施策〕

(2) 結びつきやネットワークの強化

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

（地域公共交通）

No.	30	事業名	海上交通（航路）の維持・活性化									
事業概要	佐世保～上五島航路の利便性の高いダイヤ形成や利用促進について、協議調整を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
							●		●			2
連携による効果	母港平準化、利便性の高い運航ダイヤの実現											
事業費見込額 （千円）	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	会議の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、会議の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

（ICT インフラ整備）

No.	31	事業名	オープンデータ利活用の推進に係る取組み									
事業概要	公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）が提供する、無償のクラウドサービス「BODIK ODCS」を採用し、連携市町のオープンデータポータルサイト及び広域連携ポータルサイト（総合入口）を構築する。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●			9
連携による効果	ポータルサイト構築経費の低減及びデータ利活用の利便性向上											
事業費見込額 （千円）	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	広域連携ポータルサイトの開発及び支援を行う										
	関係市町	中心市と連携市、オープンデータの提供開始や、ポータルサイト開発に必要な協力を行う										

No.	32	事業名	情報通信インフラの共同利用									
事業概要	各市町個別で調達・運用している業務システム等の共同利用により、各市町の経費負担削減と事務軽減を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●			9
連携による効果	各市町の経費負担削減と事務軽減											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	共同利用に関する標準化・ルールの作成、調整協議会、WG等の設置、調達仕様書の作成、各調達業務等を行う										
	関係市町	中心市と連携し、共同利用に関する標準化・ルールの作成、調整協議会、WG等への参加、各調達業務等を行う										

(地域内外の住民との交流・移住促進)

No.	33	事業名	【★】 広域圏サポーターの創出									
事業概要	させば移住サポートプラザを事務局として、広域圏サポーター（応援隊）創出の取り組みを進め、移住へ繋げるための圏域の情報発信、サポーターのニーズに応じた個別移住体験ツアーの実施や、首都圏域での共同移住相談会を開催し圏域移住者の増を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●				8
連携による効果	圏域の魅力体験の仕組みづくりによる移住促進											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	広域圏サポーター創出に関わる事務の主体的運営、事業立ち上げ支援等を行う										
	関係市町	中心市と連携し、移住相談、相談会開催支援、個別移住体験ツアー支援を行う										

No.	34	事業名	移住・定住連携窓口の広域圏活用									
事業概要	連携自治体の広報パンフ等展示、イメージ動画の放映、移住相談受付、移住定住イベントの共同実施等を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
連携による効果	圏域の魅力の効果的発信による移住促進											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	圏域全体の移住広報周知や、圏域へのワンストップ移住相談窓口を担う										
	関係市町	中心市と連携し、移住広報資料の提供、具体的な移住相談対応を行う										

No.	35	事業名	婚活サポート推進									
事業概要	各市町が共通して利用できる婚活マッチングシステムの構築によるお見合い支援や、各市町が実施する婚活イベント情報の共有化(一元化)と情報発信、婚活セミナー等の合同開催を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
			●				●	●			●	4
連携による効果	結婚・婚活支援対策の広域化による圏域人口減少の抑制											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	セミナー等の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、セミナー等の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

〔施策の方向性〕

【人材育成分野】

・圏域内で啓発セミナー等を実施し、人材育成のノウハウや講師・講演の情報を共有するとともに、男女共同参画について住民の意識向上を図っていきます。

【マネジメント分野】

・広域プラットフォームの組成によって、圏域内の公共施設へのPPP（公民連携）導入を推進していくことにより、公共施設運営の効率化・高付加価値化を目指していきます。

〔施策〕

(3) 圏域マネジメント能力の強化

〔連携協約に規定する取組内容〕

○○○○○○○○

〔施策のKPI（重要業績評価指標）〕

指標名	現状値	目標値 (平成 35 年度)	出典
交流職員等の人数	—	4 人	佐世保市

〔具体的取組み〕（【★】：重点事業＝本圏域で重点的、継続的に取り組む事業）

（人材の育成）

No.	36	事業名	男女共同参画推進啓発									
事業概要	佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」を拠点とし、講演会やセミナー等の企画や、各市町での出前講座の開催等、男女共同参画の意識啓発を推進する。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●			●	●	●	●	●	●	9
連携による効果	啓発機会の圏域への広がり行政事務軽減											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	セミナー等の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、セミナー等の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

(圏域内市町村の職員等の交流)

No.	37	事業名	人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成									
事業概要	行政課題の克服や、ノウハウの蓄積に寄与する分野のマッチングを行い、連携市町間での人事交流を行い、実務を通じて人材育成や業務ノウハウの習得を行う。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	10
連携による効果	圏域職員のスキルアップによる圏域全体の住民サービスの向上、地域活性化											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	市町間における人事交流分野の意向の取りまとめや、マッチング等を行う										
	関係市町	中心市と連携し、必要となる人事交流分野における派遣・受入両面からの検討を行う										

No.	38	事業名	教職員の連携（教育センターの活用）									
事業概要	人事異動方針により佐世保市と同一地域とされる4町の教職員に対し、佐世保市教育センターで開催する夏季研修の一部を共有し、研修の機会を拡大する。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
				●	●	●		●				4
連携による効果	研修機会の増加、内容の共有による教職員の資質の向上											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	研修会の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										
	関係市町	中心市と連携し、研修会の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する										

(圏域マネジメント能力の強化)

No.	39	事業名	公民連携プラットフォームの形成									
事業概要	佐世保市が保有するPPPプラットフォーム機能に、案件形成支援機能を付加し、広域（圏域全体）のプラットフォーム組成を図る。											
関係市町構成数	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	10
連携による効果	プラットフォームを活用した公共施設のPPP導入促進による、圏域の公共サービスの向上											
事業費見込額 (千円)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)	2022(H34)	2023(H35)	合計						
国及び県補助制度等												
役割分担	佐世保市	佐世保市PPPプラットフォームの企画・運営、佐世保市及び広域でのPPP/PFI推進に向けた検討を行う										
	関係市町	中心市と連携し、佐世保市プラットフォームへの参加・活用や、広域でのPPP/PFI推進に向けた検討を行う										

[長期検討事業]

事業名	事業概要
ドローン活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の社会インフラ（橋梁等）の効率的な維持管理や、災害時における迅速で効率的な被害状況の把握 ・新産業育成・雇用創出を図るための広域圏でのドローン活用 ・特区を利用した規制緩和 ・ドローンスクールの設置、各種実証事業など
広域での事務委託による民間活用の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・共通する行政業務のアウトソーシングの推進等による行政の減量化・効率化、財政支出の削減 ・民間活力による新たな産業としての地域経済活性化の検討